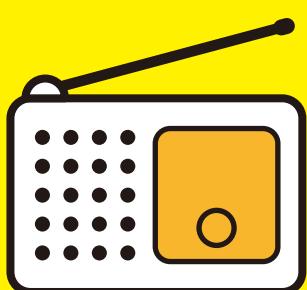
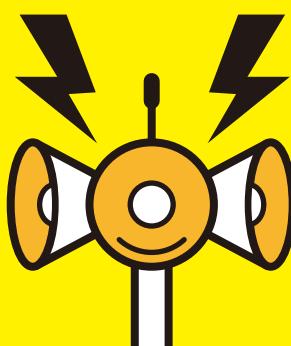
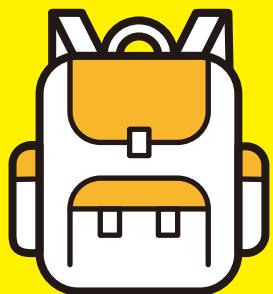


災害に備える 一人ひとりの心がけが 減災につながる

# 防災ガイドブック

保存版 //



OYAMA CITY  
小山市

令和6年3月発行

# いのちとくらしをまもる一冊

自然災害の被害を少しでも減らすために、  
一人ひとりの防災意識を高めていきましょう

近年、全国各地で相次いでおこる自然災害は、規模や範囲が以前よりも大きく激しくなっています。平成27年9月の関東・東北豪雨や令和元年東日本台風により、私たちの暮らす小山市も大きな被害を受けたことは記憶に新しいと思います。

いつどこで発生するか分からない自然災害をなくすことは難しいかもしれません。しかし、災害の知識と対策を事前に学び防災意識を高めることで、災害による被害を最小限に抑えることはできます。

「小山市防災ガイドブック」には、「いのちとくらしをまもる」ための様々な情報が分かりやすく紹介されています。ふだんは、正しい知識を身につけて適切に備え、災害時には正しく判断して適切に行動するために、本ガイドブックをぜひご活用ください。

## 過去の災害



### 東日本大震災 2011(平成23)年3月11日

東日本大震災は、太平洋側を中心とする広い地域に強い揺れと津波による甚大な被害をもたらしました。市内では4名が負傷し、約1,300棟の住宅でひび割れや瓦の落下などの損壊を生じたほか、約340箇所の塀が倒壊するなど、多くの被害が発生しました。



### 関東・東北豪雨 2015(平成27)年9月

台風18号と、台風から変化した低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだ影響で、記録的な大雨となりました。市内では住宅の浸水被害が、床上・床下を合わせて1,525棟発生しました。



### 令和元年東日本台風 2019(令和元)年10月

強い勢力を保ったまま上陸した台風19号は、関東から東北の広い範囲に記録的な大雨をもたらしました。市内では住宅の浸水被害が、床上・床下を合わせて546棟発生しました。

## いまやろう! 防災アクション!

防災アクションが完了した項目にチェックをしましょう

非常持出品を用意する



P3

食料・飲料、日用品を十分に備蓄する



P4

災害情報の入手方法を確認する



P5

家族・知人と安否確認の連絡方法を共有する



P6

自宅や自宅まわりの防災対策を行う



P13, 15

マイ・タイムラインを記入し家族と共有する



P21, 22

地図上の自宅や避難所に印をつけ、避難経路を書き込む



P25~48

わが家の防災メモを記入し家族と共有する



裏表紙

## もくじ

### 災害への備え

非常時に備え用意しておくもの	3, 4
コラム 日常生活に防災を「ローリングストック」のススメ	4
情報を収集する方法	5
安否を確認する方法	6
コラム その情報は本当?災害デマに注意	6
自主防災組織	7
避難時の協力	8

### 地震

小山市に影響のある地震	9
震度マップ	10
建物被害マップ	11
液状化危険度マップ	12
自宅の安全対策	13
地震タイムライン	14

### 洪水・土砂災害

内水氾濫・外水氾濫	15
河川水位と警戒レベル	16
土砂災害	17
コラム 発達した積乱雲に注意!	18
警戒レベル	19, 20
○ 作ってみよう!マイ・タイムライン	21, 22
避難する時のポイント	23
洪水・土砂災害マップ区割図	24
洪水・土砂災害マップ①~⑫	25~48
市全体の浸水想定区域マップ	49, 50
市全体の浸水継続時間マップ	51, 52

### 避難所一覧

わが家の防災メモ	裏表紙
----------	-----



## 災害への備え

## 地震



## 洪水・土砂災害



## 避難所一覧

# 非常時に備え用意しておくもの



**非常持出品** いざという時に、すぐに持ち出せるよう非常持出袋に入れて準備しておきましょう

## 非常食・飲料水



- 非常食  
(缶詰やアルファ米など)  
簡単に食べられるもの
- 飲料水
- 缶切り
- など

## 防災用品



- ヘルメット
- 軍手
- 懐中電灯・ヘッドライト
- 携帯ラジオ
- 電池
- 充電器
- など

## 日用品



- ティッシュペーパー
- トイレットペーパー
- ウエットティッシュ
- ゴミ袋
- 洗面用具
- など

## 衣類



- 下着
- 靴下
- 上着
- タオル
- レインコート
- など

## プラス 状況・状態に合わせてアイテムを追加しましょう

### 乳幼児がいる場合



- ミルク(粉・液体)
- ほ乳瓶
- 離乳食、おやつ
- おもちゃ
- 紙おむつ
- おしりふき



### 暑い季節の場合

- うちわ
- ネッククーラー
- 汗拭きシート
- 塩タブレット



### 寒い季節の場合

- 防寒着
- 手袋
- 使い捨てカイロ
- アルミブランケット



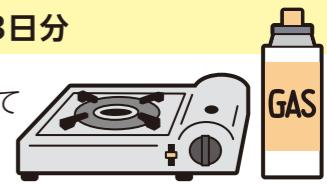
### その他

- 予備の眼鏡
- メイク落としシート
- 生理用品
- ペット用品  
(食料等)
- コンタクトレンズ
- スキンケア用品
- 防犯用品

## 災害用備蓄品

在宅避難のために備えておきたいもの、最低でも3日分

大規模災害時は自宅に被害が無くても、ライフラインが1週間以上止まってしまう可能性がありますので、計画的に備蓄しておきましょう。



## 食料品・日用品

- 食料(レトルト食品、缶詰、インスタント食品など)
- 食品用ラップ
- アルミホイル
- ティッシュペーパー
- ポリ袋・ゴミ袋
- 布製ガムテープ

## 電気の代用

- LEDランタン
- モバイルバッテリー
- 乾電池
- 発電機、蓄電池
- クーラーボックス
- 保冷剤

## ガスの代用

- カセットコンロ
- カセットボンベ
- トイレの代用
- 非常用トイレ
- トイレットペーパー
- 消臭剤、消臭袋

## 水道の代用

- 飲料水
- ポリタンク、給水袋
- ウエットティッシュ
- 体拭きシート
- ドライシャンプー
- 生活用水(貯水)
- 紙皿・紙コップ、割り箸

## コラム

### 日常生活に防災を「ローリングストック」のススメ



#### ローリングストックとは

普段食べている常温保存可能な食品を多めにストックし、食べた分だけを補充していく方法です。

#### ローリングストックの良いところ

特別に非常用食品を用意する必要もなく、また食料を循環させることで常に新鮮な食料品を備蓄することができます。

#### ストックしておくとよい食べ物例



##### レトルト食品

- ごはん、おかゆ、カレー、シチュー、
- カツ、スープ、
- フルーツ缶など



##### 缶詰・瓶詰

- ツナ缶、おかず缶、カップ麺、スープ、
- 即席みそ汁など



##### インスタント食品

- 即席みそ汁など



##### 乾麺、乾物

- 早ゆでタイプのスパゲッティ、そうめん、乾燥野菜・海藻など



##### 栄養補助食品

- 野菜ジュース、ゼリー飲料、栄養クッキー、シリアルバーなど

#### 日用品・衛生用品もローリングストック

非常時は、製造ラインの停止や物流の混乱が起こるうえ、商品の買い占めなどにより、様々な品物が不足しがちになります。大切な生活必需品は、普段から余裕をもってストックしておきましょう。



# 情報を収集する方法

災害への備え

災害情報はいろいろな形で発信される

災害時には複数の手段で、正しい情報を入手することが大切



## 小山市安全安心情報メール

あらかじめご登録いただいた携帯電話やパソコン等のメールアドレスに災害や犯罪等に関する情報をお知らせする、メール配信サービスを行っています。

から  
空メールを送信  
下記のメールアドレスへ  
「空メール」(題名・本文  
は何も書かずに)を送信  
**t-oyama@sg-p.jp**

メール受信

メール本文の登録用  
URLにアクセス

登録情報入力

登録情報確認

メール受信

登録完了メール

QRコード  
スマートフォン

QRコード  
フィーチャーフォン

※迷惑メール防止機能使用の場合「@oyama-anshin.jp」からメールを受信できるように設定してください。

※登録料や会費等は無料ですが、メールの受信にかかる通信料は利用者の負担となります。

## 小山市防災ポータル

台風の接近や、大地震などの自然災害が発生した際には、避難情報や開設している避難所情報、被害の情報等を掲載します。

また、通常時には、電気、水道等のライフラインに関する情報や、鉄道、道路（国道、県道）に関する情報が閲覧できます。



## 防災行政無線テレfonサービス

防災行政無線屋外スピーカーから放送した災害情報等の内容を電話で確認することができます。

令和5年4月  
電話番号が  
変わりました  
**0285-23-0031**  
ゼロ さい がい  
※番号をお間違いないようお願ひいたします。

## ラジオ「おーラジ」

おやまコミュニティFM「おーラジ」(周波数77.5MHz)は、災害時等に市からの緊急割込み放送を行います。



## 防災ラジオの購入補助を行っています

「防災ラジオ」とは、災害発生時などに国や市が発する緊急放送を受信すると、自動的に起動して放送を聞くことができるラジオのことです。市では、75歳以上の世帯に対し購入費の一部を補助しています。

詳しい内容については、市のホームページを確認してください



# 安否を確認する方法

災害への備え

大規模災害時には携帯電話や固定電話がつながりにくくなる

災害時に「誰に連絡をするか」「どのような連絡方法があるか」を確認・共有する

## 171 災害用伝言ダイヤル「171」

被災者が伝言を録音し、家族友人が電話で再生できる「声の伝言板」です。



体験しよう//  
災害用伝言サービス  
体験利用提供日

毎月1日・15日

1月1日～3日

1月15日～21日

8月30日～9月5日

事前に体験することで、災害時の余裕を持った対応につながります。

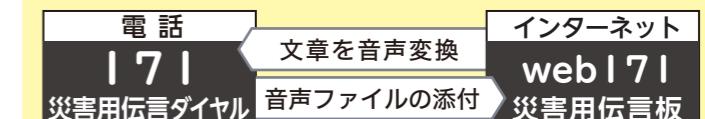
## WEB 171 災害用伝言板「web171」

インターネットを利用して安否  
確認を行う「文字の伝言板」です。



## 相互で確認可能

登録した伝言は、どちらでも確認できます。



## 各種SNS、メール

電話回線が混み合っていても、データ通信  
が可能な状態であれば連絡を取り合うこと  
ができます。家族や親しい人とはあらかじ  
め、使用する連絡手段を決めておきましょう。



## 携帯電話会社の災害用伝言板

被災地の方が登録した文字の伝言を、全国から  
電話番号をもとに確認することができます。



## コラム

### その情報は本当? 災害デマに注意

大規模災害時には不安、恐れ、怒り、そして親切心からも流言飛語  
(デマ)は広がりやすくなります。さらに、SNS等の普及で広がるス  
ピードが各段と早くなりました。ショッキングな情報を反射的に拡散  
させるのではなく、情報の出所と真偽を確認するように心がけましょう。



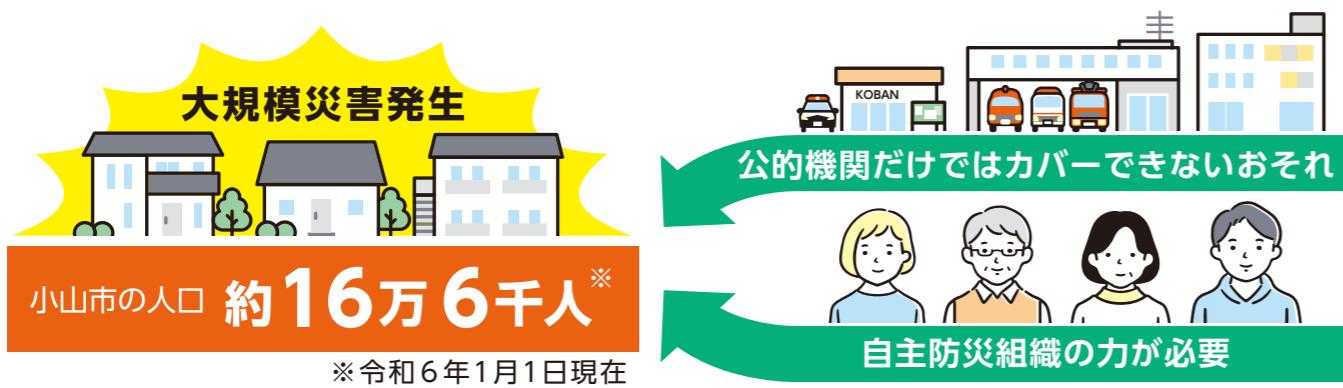
# 自主防災組織

# 避難時の協力

- 大規模災害の直後は、市や消防、警察などの救援が不足するおそれがある
- 地域住民が自主的に協力・連携した自主防災組織の活動が求められる

## 「自分たちのまちは自分たちで守る」

大規模災害による被害を最小限に抑えるためには、行政の力だけでは限界があります。自治会、自主防災会、民生委員・児童委員、近隣住民、ボランティアなどの組織化された「地域の力」が必要不可欠です。



### 平時の活動

日ごろから、住民の防災意識向上のための啓発活動を実施します。  
また、災害時に組織がどのように活動するのか訓練をします。

- 地震や風水害、土砂災害についての正しい知識を啓発
- 浸水想定区域における早めの避難など、地域特性に対応した被害拡大防止策を啓発
- 各種災害を想定した防災訓練・避難訓練の実施
- 亀裂のある塀や用水路、狭い道路といった地域の危険箇所の点検および調査 など



### 災害時の活動

災害が発生したときに、被害の軽減・防止のために組織的に活動します。

- 公的機関からの災害に関する正しい情報の収集と住民への迅速な伝達
- 出火の防止、初期消火活動
- 被災者の救出と救護活動、応急手当
- 避難誘導や避難支援、避難者の把握
- 避難所の運営と環境整備、給食や給水 など



## 自主防災組織を設立しましょう！

小山市では地域防災力の向上を図るために、自主防災組織の設立を推進しています。自主防災組織を設立される地域に対しては、消火器・かまど・救助工具セットなど、防災活動に必要な資機材整備を支援しています。

詳しい内容については、市のホームページを確認してください



- 災害時には、自力での避難が難しく、支援を必要とする人たちがいる
- 地域全体による避難支援体制で、「災害犠牲者ゼロ」を目指す

## 誰一人取り残さないために

災害による犠牲者の多くは、自分の力で避難する事が困難な人たちです。避難できずに災害に巻き込まれて犠牲になるだけではなく（直接死）、避難できたとしても避難先で適切なケアが受けられずに亡くなってしまうケース（災害関連死）も多く見られます。

「災害犠牲者ゼロ」を実現するためには、地域ぐるみの避難支援が不可欠です。



要配慮者の中でも  
自力避難が困難で、  
支援が必要な人

高齢者、障がい者、  
乳幼児などの特に  
配慮が必要な人

## 要配慮者への協力例

危険を察知しにくい人	目の不自由な人	・手の空いている側へまわり、肘の上をつかんでもらいゆっくり歩く ・階段などの障害物を説明しながら進む
	耳の不自由な人	・口を大きく動かし、はっきりと話す ・筆談をする ・身振り手振りで、情報を伝える
危険なことを理解・判断しにくい人	高齢者	・複数人で対応する ・緊急時には背負うなどして避難
	外国人	・日本語でいいので、声をかける ・身振り手振りで、情報を伝える ・可能な限り避難行動を共にし、孤立させない
危険に対して適切な行動がとりにくい人	車いす利用者	・坂道を上がるときは前向き、降りるときは後ろ向き ・階段では可能な限り3人以上で協力する
	妊婦・乳幼児	・体調に気を配る ・足元などに注意して、ゆっくり先導する



## 自分の力で逃げることができない方へ

災害時に支援を受けやすくなるよう、あなたの「災害時見守り情報個別票」を避難支援者へ渡すことに同意してください。  
(この個別票は「避難行動要支援者名簿の登録申請書」と「避難支援者への情報提供に関する同意書」を兼ねています。)

詳しい内容については、市のホームページを確認してください



地域の皆様へ  
地域での避難支援体制づくりに  
ご理解・ご協力を  
お願いします

# 小山市に影響のある地震

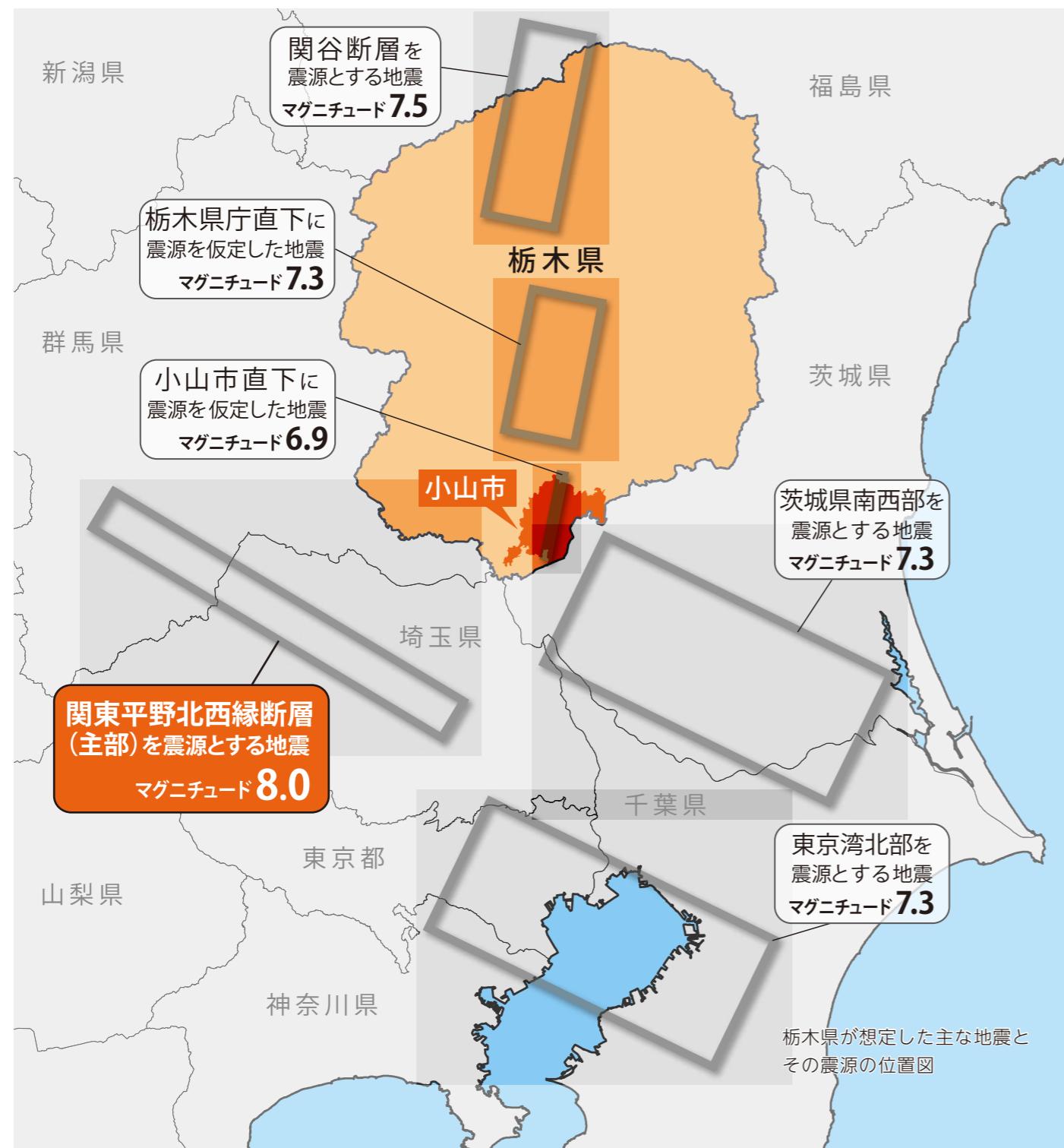
## 震度マップ

！ 関東平野北西縁断層で地震が起こった場合、市内は最大震度6強が想定されている

！ 強い揺れが想定される地域では、液状化の危険度も高くなる

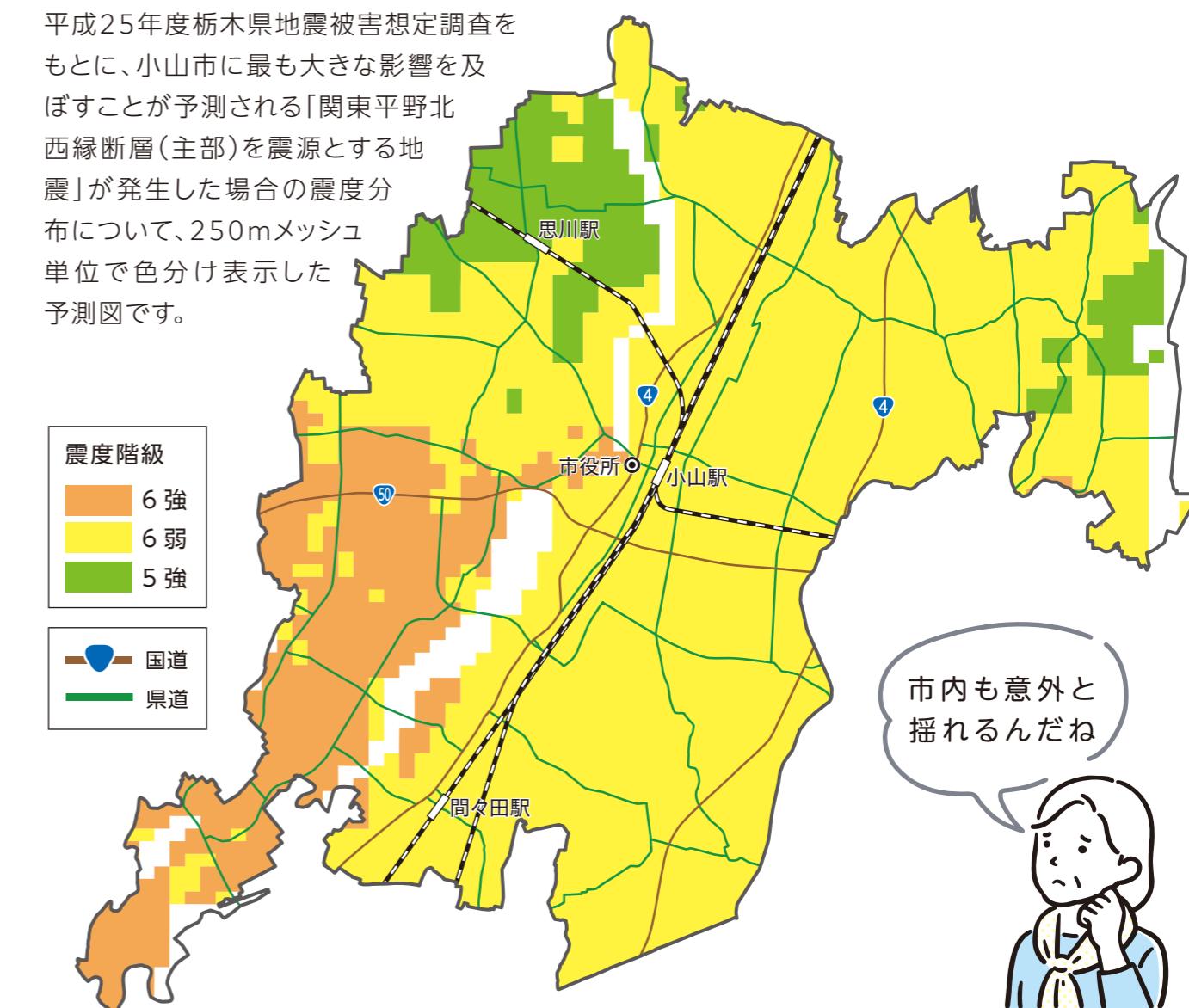
### 小山市内で想定されている大きな地震 //

栃木県では県内に甚大な被害をもたらす地震として、4つの活断層等による地震と、どこでも起こりうる直下の地震を対象として、平成25年度に地震被害想定調査を実施しました。これらの地震のうち、小山市に最も大きな影響を及ぼす地震は、「関東平野北西縁断層(主部)を震源とする地震」で、最大震度6強が想定されます。



### 震度分布

平成25年度栃木県地震被害想定調査をもとに、小山市に最も大きな影響を及ぼすことが予測される「関東平野北西縁断層(主部)を震源とする地震」が発生した場合の震度分布について、250mメッシュ単位で色分け表示した予測図です。



### 震度と予想される現象

震度 7
震度 6強
震度 6弱
震度 5強
震度 5弱

- ・固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたり、飛ぶこともある
- ・耐震性が低い建物は、傾くものや倒れるものが6強よりさらに多くなる
- ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる
- ・耐震性が低い建物は、傾くものや倒れるものが多くなる
- ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある
- ・耐震性が低い建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたり倒れるものもある
- ・固定していない家具が倒れることがある
- ・棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる
- ・電灯などのつり下げ物は激しく揺れる
- ・棚にある食器類や書棚の本が落ちることがある

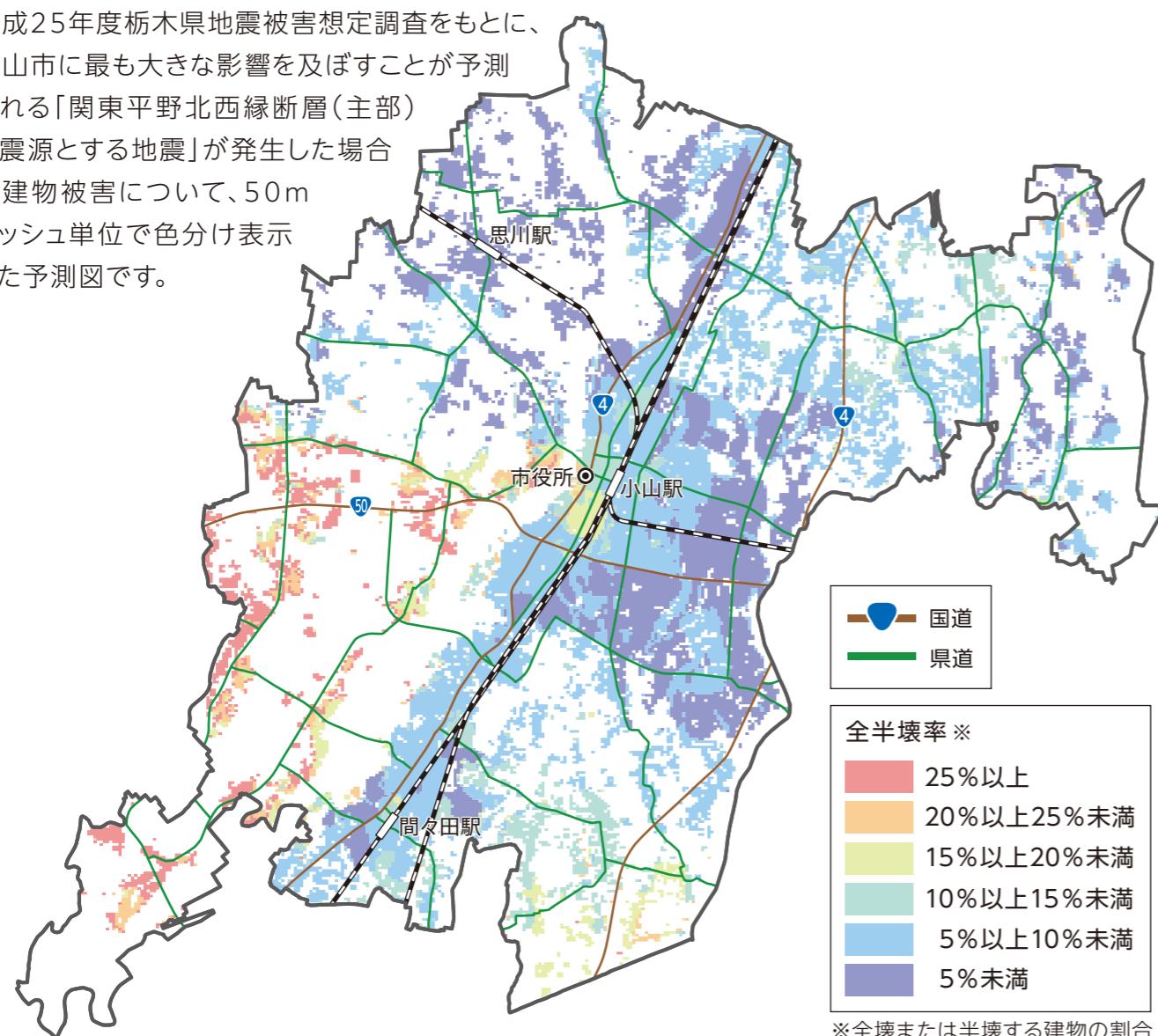


気象庁震度階級関連解説より作成

# 建物被害マップ

## 建物被害分布

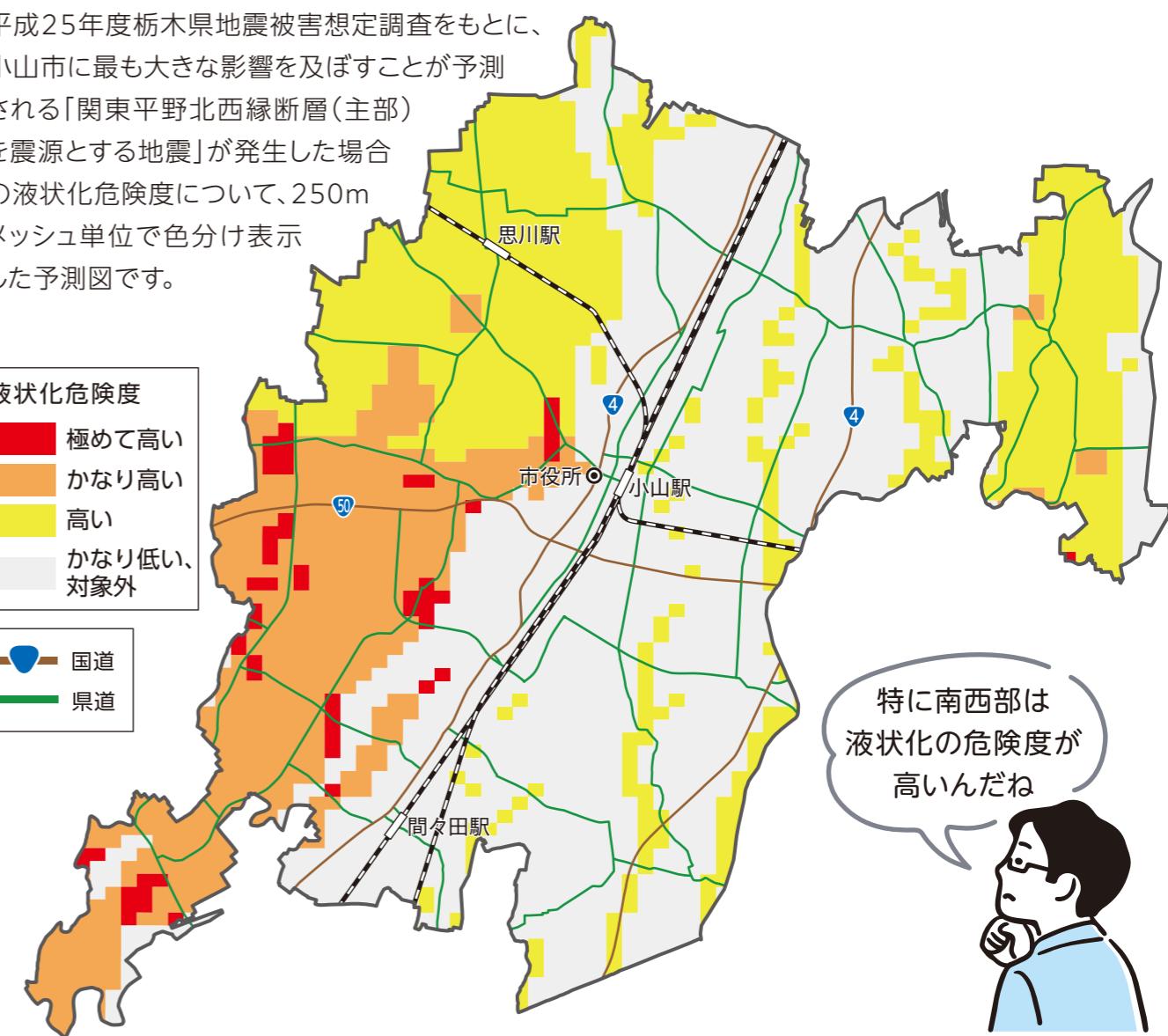
平成25年度栃木県地震被害想定調査をもとに、小山市に最も大きな影響を及ぼすことが予測される「関東平野北西縁断層(主部)」を震源とする地震が発生した場合の建物被害について、50mメッシュ単位で色分け表示した予測図です。



# 液状化危険度マップ

## 液状化危険度分布

平成25年度栃木県地震被害想定調査をもとに、小山市に最も大きな影響を及ぼすことが予測される「関東平野北西縁断層(主部)」を震源とする地震が発生した場合の液状化危険度について、250mメッシュ単位で色分け表示した予測図です。



## 液状化被害の例

液状化現象とは、地震の振動によって地盤が液体状になる現象です。

## 地震に強い安全なまちづくりを進めています

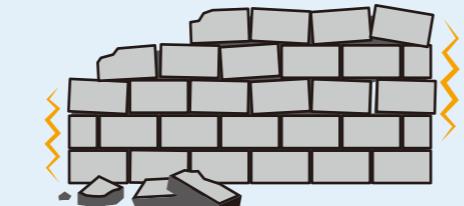
### 木造住宅耐震対策補助制度

昭和56(1981)年5月31日以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅に対して、木造住宅耐震対策助成事業を実施しています。

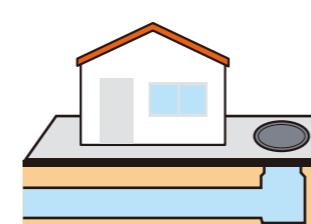
### ブロック塀等安全対策補助制度

道路(特に通学路)に面した危険なブロック塀等の撤去や、撤去及び軽量な塀等を設置する工事に対して、補助制度を設けています。

詳しい内容については、市のホームページを確認してください

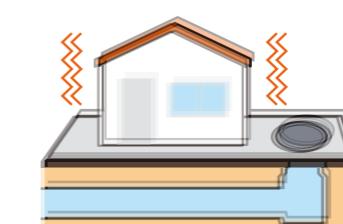


### 通常時



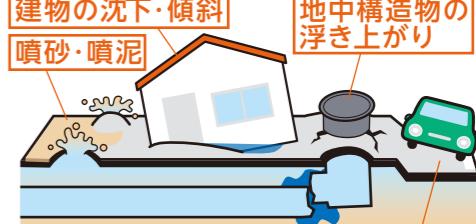
水  
砂粒

### 地震時



砂粒がかみ合い  
その間を水が満たし地盤を支える安定した状態  
地震で揺れると砂粒のかみ合いが崩れ、水に浮いた状態になる

### 地震後



建物の沈下・傾斜  
噴砂・噴泥  
地中構造物の浮き上がり  
道路の陥没  
水と分離した砂粒が沈下し、地盤沈下や道路の陥没などを引き起こす

# 自宅の安全対策

# 地震タイムライン

- 地震時に、家具・家電類などは凶器となるのでしっかりと固定する
- 家中とまわりを安全な状態にして、被害が少なくなるように備える

被害を減らすために

- 家中に、家具のない安全なスペースを確保する
- 寝室や子ども・高齢者などがいる部屋には、倒れそうな家具を置かない
- 家具の転倒や落下を防止するための対策を行う
- 壊の破損、ひび割れ等を修理する。また、ベランダには落ちやすいものを置かない

## 本棚・タンス

ベッドの上や出入口を塞ぐ方向へ倒れない位置に置き、固定器具を設置する

## 非常用照明

停電に備えて、枕元に明かりを用意する

## 石油ストーブ

対震自動消火装置のあるものを使用し、ストーブの上に洗濯物を干さない

## 照明器具

吊り下げ式タイプのものは、鎖やワイヤー等で複数箇所を天井に留める

## 家電

固定して転倒防止、扉にストッパーを設置する

## 食器棚・収納棚

固定器具を設置する。開き戸にストッパーを設置し、ガラス戸には飛散防止フィルムを貼り、食器の下にはすべり止めシートを敷く

## スリッパ

足のけが予防に、寝室に置いておく

## 非常用持出袋

避難時に取り出しやすい場所に置き、定期的に中身を確認する

## 玄関・廊下

避難経路になるので余計なものを置かない

## テレビ・テレビ台

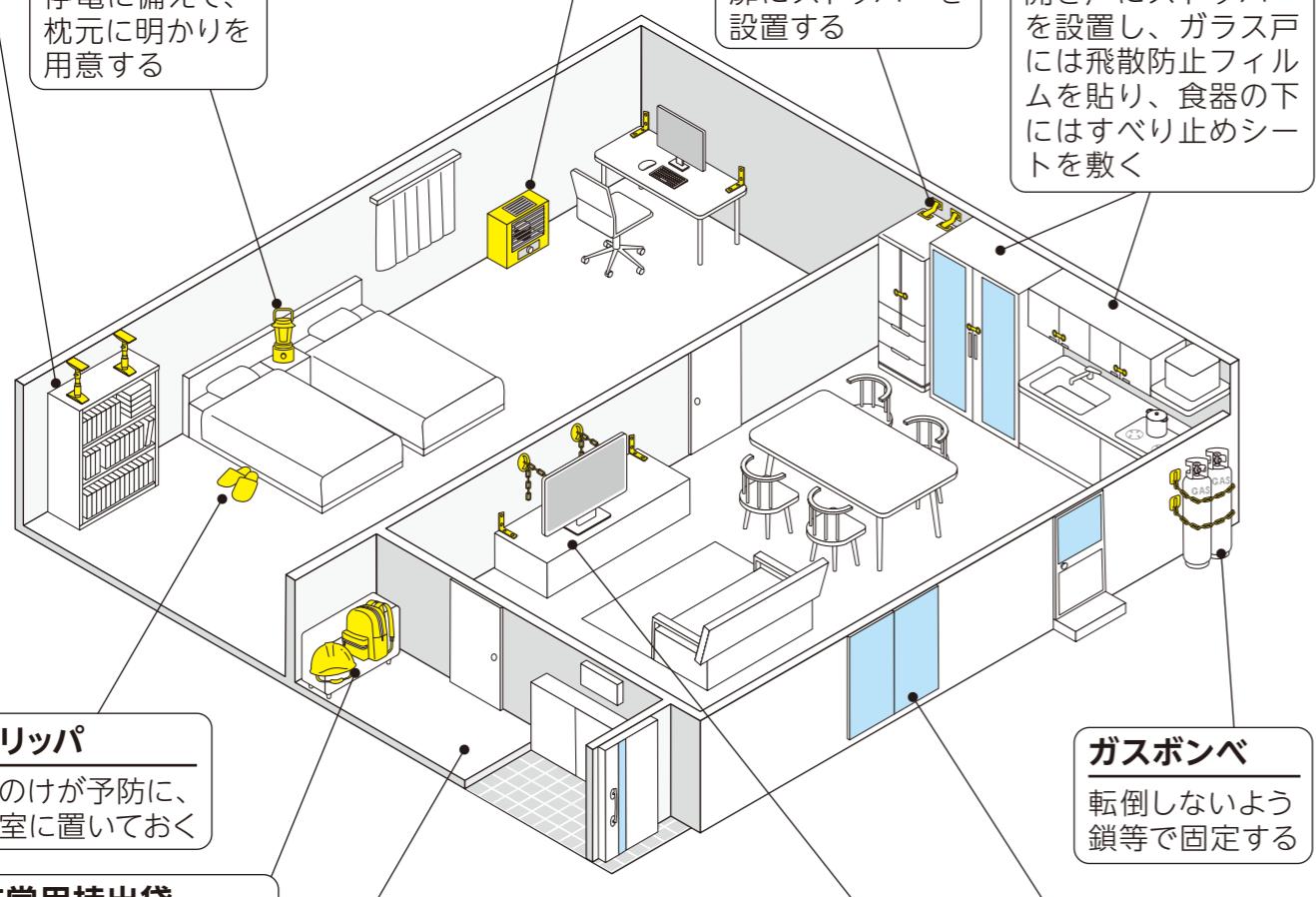
低い位置に置き、金具や粘着マットなどで固定する

## ガスボンベ

転倒しないよう鎖等で固定する

## 窓ガラス

飛散防止フィルムを貼る



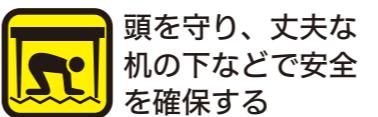
地震発生

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報が発表された場合

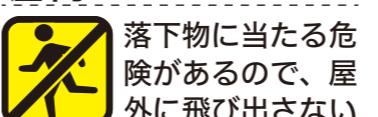
あわてずに、まず身の安全を確保する

まず低く、頭を守り、動かない（シェイクアウト）  
倒れてくる家具や落下物に注意する

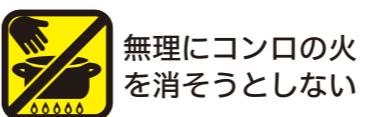
屋内



屋内



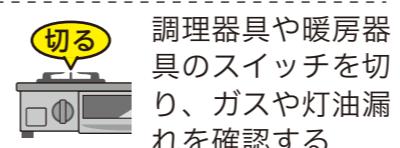
屋内



落ち着いて身の回りを確認し、二次災害を防ぐ

ただし、危険が迫っている場合は一刻も早く避難!!

火の元を確認



スリッパや靴を履く

ガラス破片などが足元に散乱している場合がある

近所の人たちの安否を確認

お互いに声を掛け合って安否を確認し、高齢者や体の不自由な人たちを安全な場所へ誘導する

協力して救護・初期消火

けが人の救護や消火活動は近隣住民や自主防災組織など、地域で協力して行う

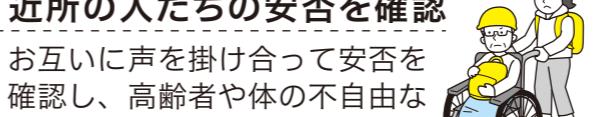
落ち着いて初期消火



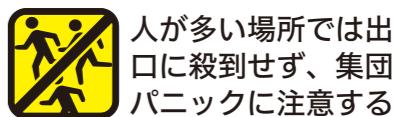
出口を確保

部屋の窓や玄関のドアを開ける

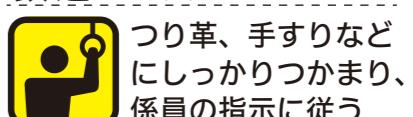
協力して救護・初期消火



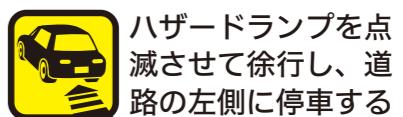
公共施設



鉄道・バス



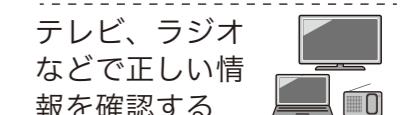
自動車



家族の安全を確認



正しい情報を入手



「通電火災」

「通電火災」は、地震の影響で配線が損傷するなどの状態のまま通電することで発生します

- 避難時には、ブレーカーを落とす
- 通電前に室内外の電線や配線の損傷などを確認する
- 通電前に電化製品のスイッチ(切)などを確認する

# 内水氾濫・外水氾濫

# 河川水位と警戒レベル

!  
内水氾濫は河川から離れていても発生する

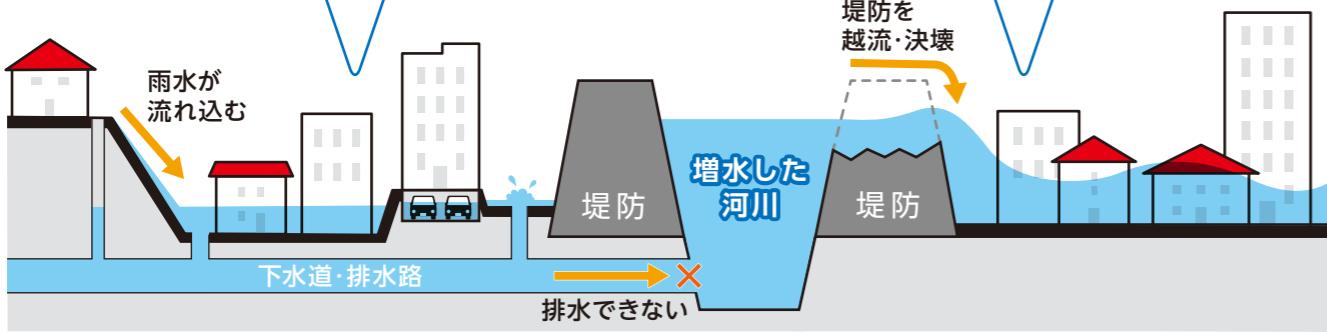
!  
外水氾濫は住宅の倒壊・流出などの被害を起こす

## 内水氾濫・外水氾濫の違いと特徴

周りより低い土地で起こりやすい

### 内水氾濫 排水機能の不全が原因

下水道や排水路の排水能力を超える大量の雨が降ったり、河川の水位が上昇して下水道等から河川に排水できなくなったときに、溢れ出した雨水で建物や道路が浸水してしまいます。



河川の近くで起こりやすい

### 外水氾濫 河川の増水が原因

河川の堤防から水が溢れたり、堤防が決壊することにより、市街地や田畠に水が流れ込む現象のことをいいます。広範囲で浸水するおそれがあります。

## 事前にやってほしいこと



### 雨水ますや側溝の手入れ

雨水がスムーズに排水されるよう、普段からこまめにゴミや落ち葉を取りのぞきましょう。



### 避難経路の確認

冠水するおそれのある道路やアンダーパスは、「洪水・土砂災害マップ」で確認しておきましょう。

!  
河川の水位に応じた氾濫危険度レベルを理解する

!  
局地的集中豪雨(いわゆるゲリラ豪雨)による河川の急な増水は特に注意が必要

河川敷にいる場合

こんなときは  
すぐに  
川から離れて

- 大雨注意報、警報が発表されたとき
- 川の上流の空に黒い雲、積乱雲が見えたとき
- 空が急に暗くなり、雷の音や光が見えたとき
- 急に水かさが増え、川の水がにごってきたとき
- 急に落ち葉や流木、ゴミなどが流れてきたとき



## 洪水情報が提供される河川の水位



※警戒レベルについては P19、20

## 河川の水位等の情報をしらべる

### 気象庁 指定河川洪水予報 検索

小山市の指定河川洪水予報を確認できます。



### とちぎリアルタイム雨量・河川水位観測情報 検索

栃木県内各地に設置した観測局で観測された河川水位・雨量を確認できます。



### 国土交通省 川の防災情報 検索

小山市の川の水位やカメラで河川の様子を確認できます。



## 水害による被害を減らすために

### 緊急時に「土のう」の支給

大雨等による住宅等への浸水防止手段として、「土のう10袋程度」を支給しています。

必要な方は、市役所に相談してから取りに来てください。



### 風水害時の「車両退避場所」

車両を水没等の被害から守るために、市施設や民間の駐車場等を「車両退避場所」として開放します。災害時の利用については、受け入れ準備が整い次第、小山市安全安心情報メール、小山市ホームページ、小山市防災ポータルなどで周知します。

詳しい内容については、市のホームページを確認してください

# 土砂災害

！ 土砂災害は大雨や地震によって突然に起こる

！ 前兆現象に注意し、危険を感じたら避難情報が出ていなくてもすぐに避難

## 土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害は、「がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)」「土石流」「地すべり」の3つに分類されます。なお、小山市内には「土石流」「地すべり」の指定区域はありません。



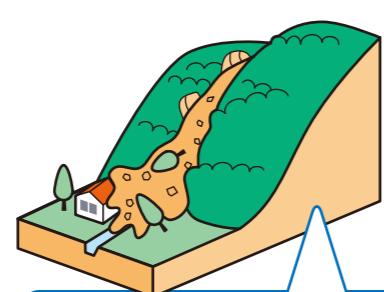
### がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

急な斜面が、大雨や地震などにより突然崩れ落ちる現象です。

#### 前兆現象

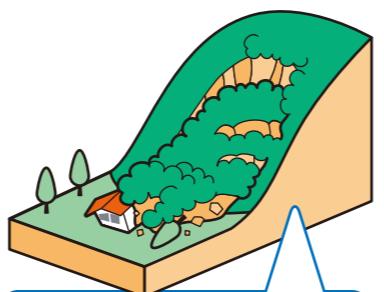
このような現象がある場合は  
すぐに避難してください

- がけに割れ目が見える
- 水がわき出ている
- 小石がパラパラ落ちてくる
- 木の根が切れる等の音がする



### 土石流

山腹や川底の石や土砂が、大雨などにより一気に押し流される現象です。

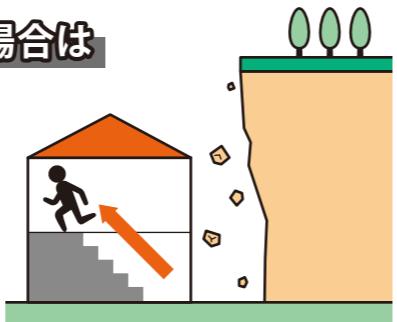


### 地すべり

ゆるやかな斜面が、広い範囲にわたりゆっくりとすべり落ちる現象です。

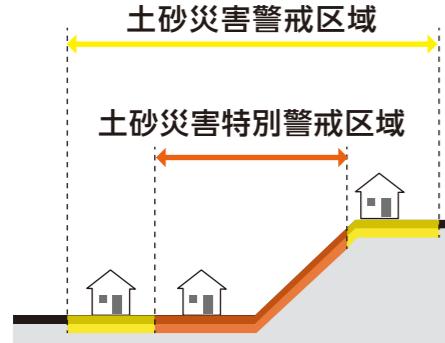
#### 避難することが難しい場合は

避難所へ行くことが困難な場合は、無理をせず近くの頑丈な建物の2階以上に避難、もしくは自宅上階などのがけから離れた部屋へ避難して安全を確保しましょう。



## 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

栃木県では、土砂災害から皆さまの命を守るために、危険箇所内の重要性の高い箇所について、土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の指定を進めています。



### 土砂災害警戒区域

土砂災害が発生したときに被害等を受けるおそれのある区域です。土砂災害の危険性の周知や避難体制の整備が図られます。

### 通称:イエローゾーン

### 土砂災害特別警戒区域

土砂災害が発生したときにより大きな被害等を受けるおそれのある区域です。開発行為の制限や新築・増改築の際の構造規制等が行われます。

### 通称:レッドゾーン

## コラム

### 発達した積乱雲に注意!

夏によく見られる積乱雲(入道雲・かなとこ雲・かみなり雲)は局地的な大雨だけでなく、ひょうや雷、激しい突風(ダウンバースト、ガスフロント)、竜巻等をもたらして災害の原因になることがあります。



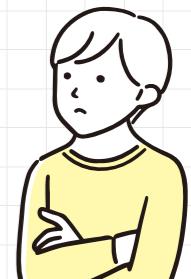
このよくな雲に注意

### 積乱雲が接近しているサイン

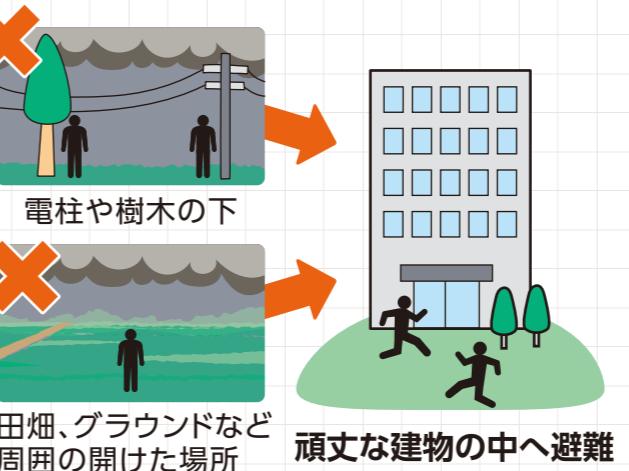


天気予報等で「大気の状態が不安定」というワードがあれば要警戒!

- 真っ黒な雲が近づいてくる
- 雷の音が聞こえてくる
- あたりが急に暗くなる
- 冷たい風が吹いてくる
- 大粒の雨やひょうが降り出す



### 竜巻・雷からの身の守り方



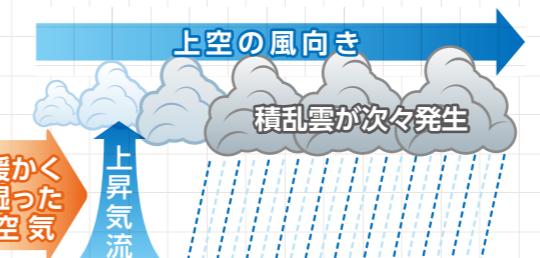
#### 竜巻からの避難のポイント

- 自動車や物置・プレハブへ避難しない
- 安全な場所への避難が困難な場合は頑丈な建物のそばにうずくまつたり、側溝等のくぼみにひせる

#### 雷からの避難のポイント

- 屋根のある自動車への避難は有効
- 屋内では家電製品や窓・壁から離れる
- 安全な場所への避難が困難な場合は耳をふさぎ、足を閉じてしゃがむ

### 線状降水帯に注意



線状降水帯とは、発達した積乱雲が連続して発生し、ほぼ同じ場所を通過もしくは停滞し続ける現象です。その結果、局地的な集中豪雨をもたらし、災害を引き起こす原因となります。

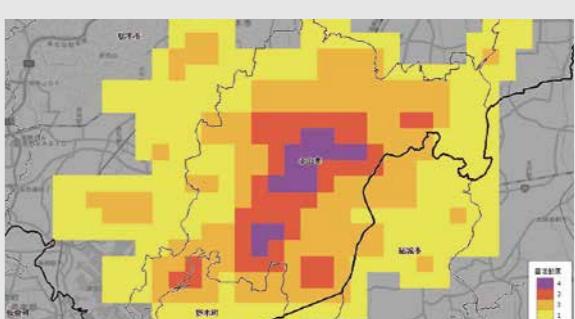
### 気象庁の情報サイト

#### ナウキャスト 気象庁 検索



気象状況をリアルタイムで確認できます。

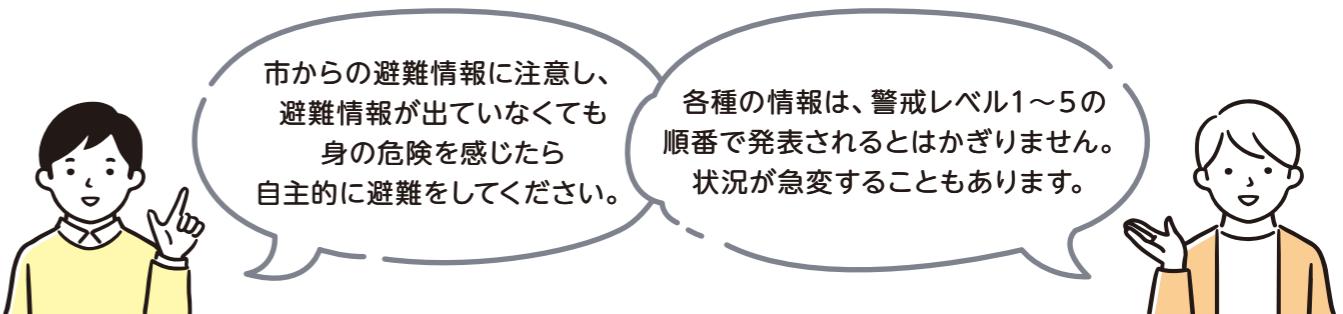
雨雲の動き 雷の活動度 竜巻発生確度



# 警戒レベル

！ 警戒レベルと避難情報等について理解する

！ 警戒レベル4までにかならず避難する



警戒レベルと取るべき行動

	警戒レベル	状況	取るべき行動	小山市が発令 避難情報等	気象庁が発表 防災気象情報	河川管理者(国・県)と気象庁が発表 指定河川洪水予報	気象庁が発表 キキクル危険度	警戒レベル 5相当
高	5		<b>命の危険 直ちに安全確保!</b>	緊急安全確保 ※1	大雨特別警報	氾濫発生情報	災害切迫	警戒レベル 5相当
災害発生の危険度	4		<b>危険な場所から全員避難</b>	避難指示 ※2	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	危険	警戒レベル 4相当
	3		<b>危険な場所から高齢者等避難</b> ※高齢者や障がいのある人、乳幼児とその保護者など	高齢者等避難 ※3	洪水警報 大雨警報	氾濫警戒情報	警戒	警戒レベル 3相当
	2		避難に備え、ハザードマップなどで 避難行動を確認	—	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報	注意	警戒レベル 2相当
低	1		最新の気象情報に注意するなど 災害への心構えを高める	—	早期注意情報	市内を流れる河川の水位と洪水予報は P16	キキクル(警報の危険度分布)	

※1 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 令和3年5月の法改正により「避難勧告」は廃止され、「避難指示」に一本化されました。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危機を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## 緊急安全確保とは～命を守る最低限の行動～

警戒レベル5「緊急安全確保」とは、すでに災害が発生しているか、切迫していて命が危険な状態です。  
自宅の2階以上やがけと反対側の部屋、もしくは移動できる範囲の頑丈で高い建物に移動し、身の安全を確保してください。



## 特別警報とは

特別警報とは、警報の発表基準をはるかに超える大雨が予想され、重大な災害の起こるおそれが高まっていることから最大級の警戒を呼びかけるものです。  
直ちに市からの避難情報を確認し、適切な行動をとってください。



# 作ってみよう！マイ・タイムライン

## 洪水・土砂災害（風水害）発生時のタイムライン



# 避難する時のポイント

# 洪水・土砂災害マップ区割図

！ 指定避難所へ行くことだけが避難ではない、状況に応じた避難を心がける

！ 在宅避難の備えや、避難所生活のルールを確認する

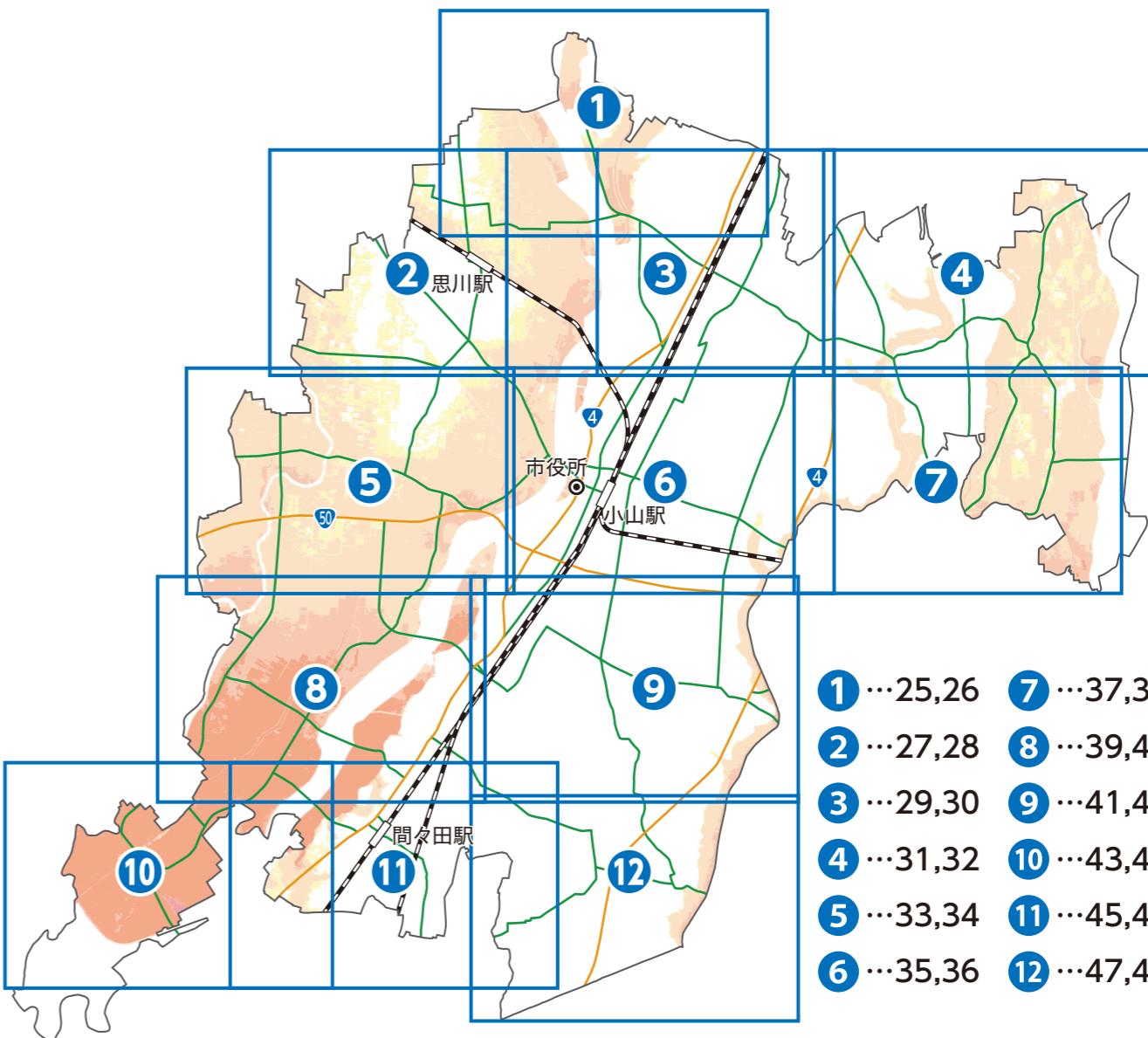
状況に応じた分散避難



在宅避難する場合 普段から災害に備えて備蓄する	避難所で生活する場合 ルールを守りお互い協力して過ごす
<b>ライフラインの代替を備える</b>	<b>共同生活のマナーとルールを守る</b>
□ 懐中電灯、電池、ポータブル電源、カセットコンロ	□ お互いのプライバシーに配慮する
□ 飲料水や生活用水	□ 妊婦や子供に対し、思いやりをもって接する
□ 簡易トイレ、トイレ処理セット	<b>衛生面に配慮する</b>
<b>日ごろから食料や日用品衛生品の備蓄を</b>	
□ 普段からローリングストックを行い、災害時は備蓄品として使用する	□ こまめな清掃や、ゴミの適切な処理を心がける
P4	□ トイレはきれいに使う
<b>少しでも危険を感じたら、他の場所へ避難する！</b>	□ 感染予防のため、衛生管理を行う

## ペットと避難する場合は…

- ☆ 避難所には、ペット（犬や猫等の小動物のみ）を連れて避難することができます。
- ☆ アレルギーの方や、鳴き声が気になるなど衛生管理上、人と同じ空間で過ごすことはできません。
- ☆ 決められた場所で飼育することになりますので、必ずケージ等の準備をお願いします。
- ☆ 避難所にはペット用品は備蓄していませんので、飼い主が持参してください。



## マップで確認

自宅や自宅周辺は以下の色や柄で塗られていないか確認しましょう

### 想定浸水深

想定される浸水範囲と浸水深さ

10.0m~20.0m

5.0m~10.0m

3.0m~ 5.0m  
2階浸水

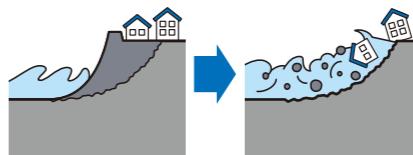
0.5m~ 3.0m  
1階浸水

0.5m未満 床下浸水

### 家屋倒壊等氾濫想定区域（早期の立ち退き避難が必要な区域）

#### 河岸侵食

洪水時の河川の激しい流れによって、河岸の地盤が削られて崩落し、家屋が倒壊または流出するおそれのある区域です。



#### 氾濫流

河川堤防の決壊などによって氾濫した水流が、木造家屋を倒壊または流出させるおそれのある区域です。

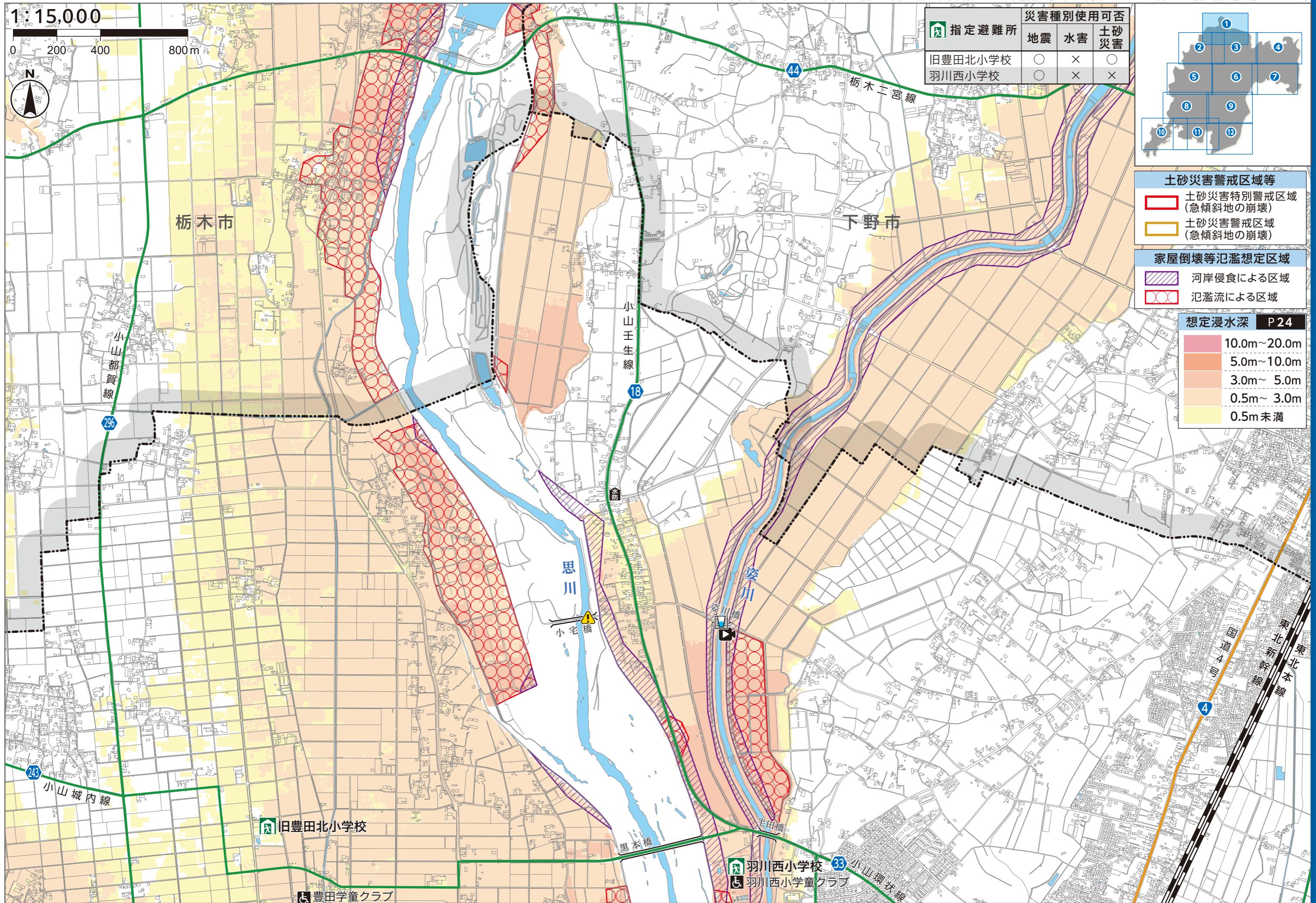


### 土砂災害(特別)警戒区域

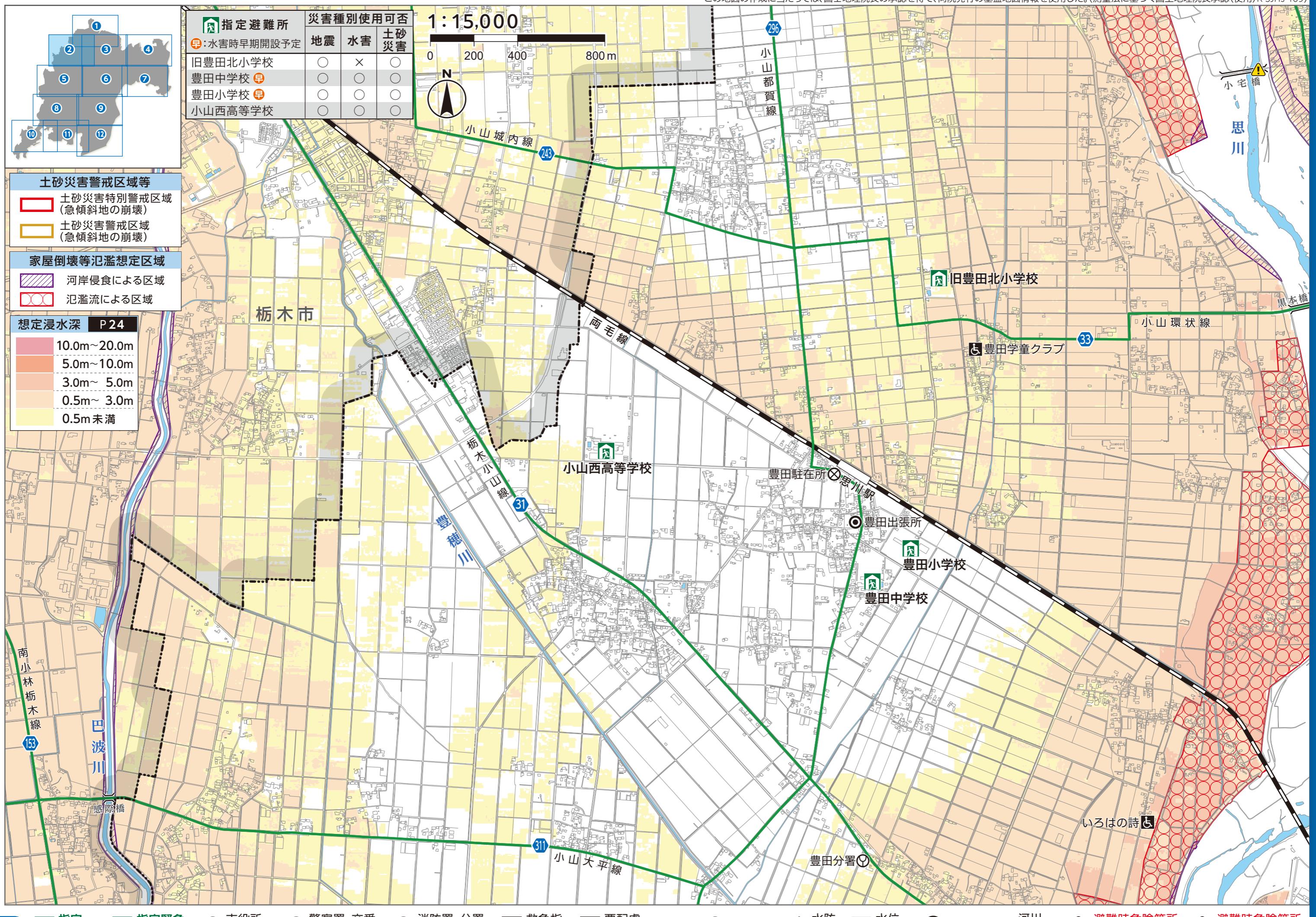
P17

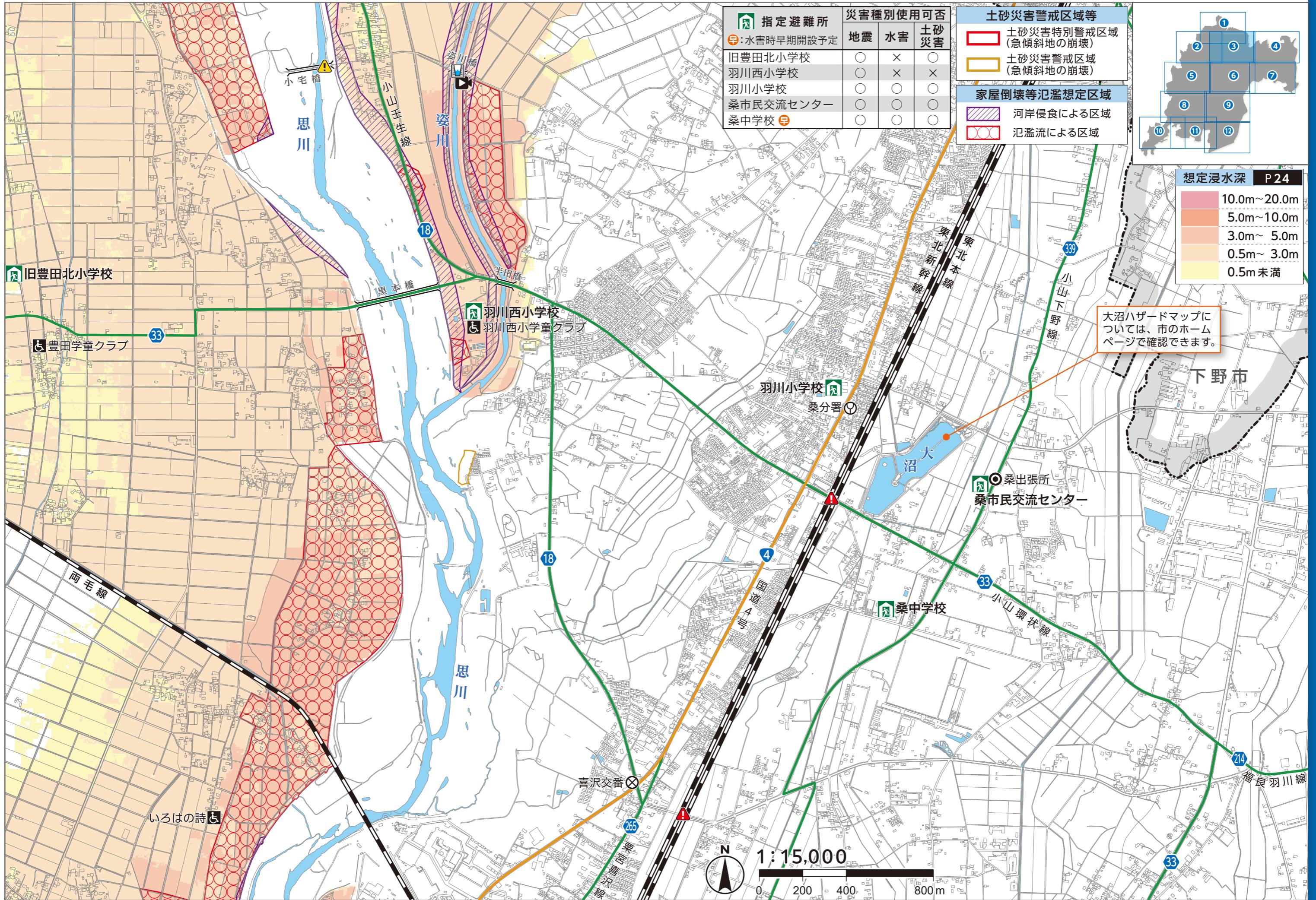
□ 土砂災害特別警戒区域

□ 土砂災害警戒区域

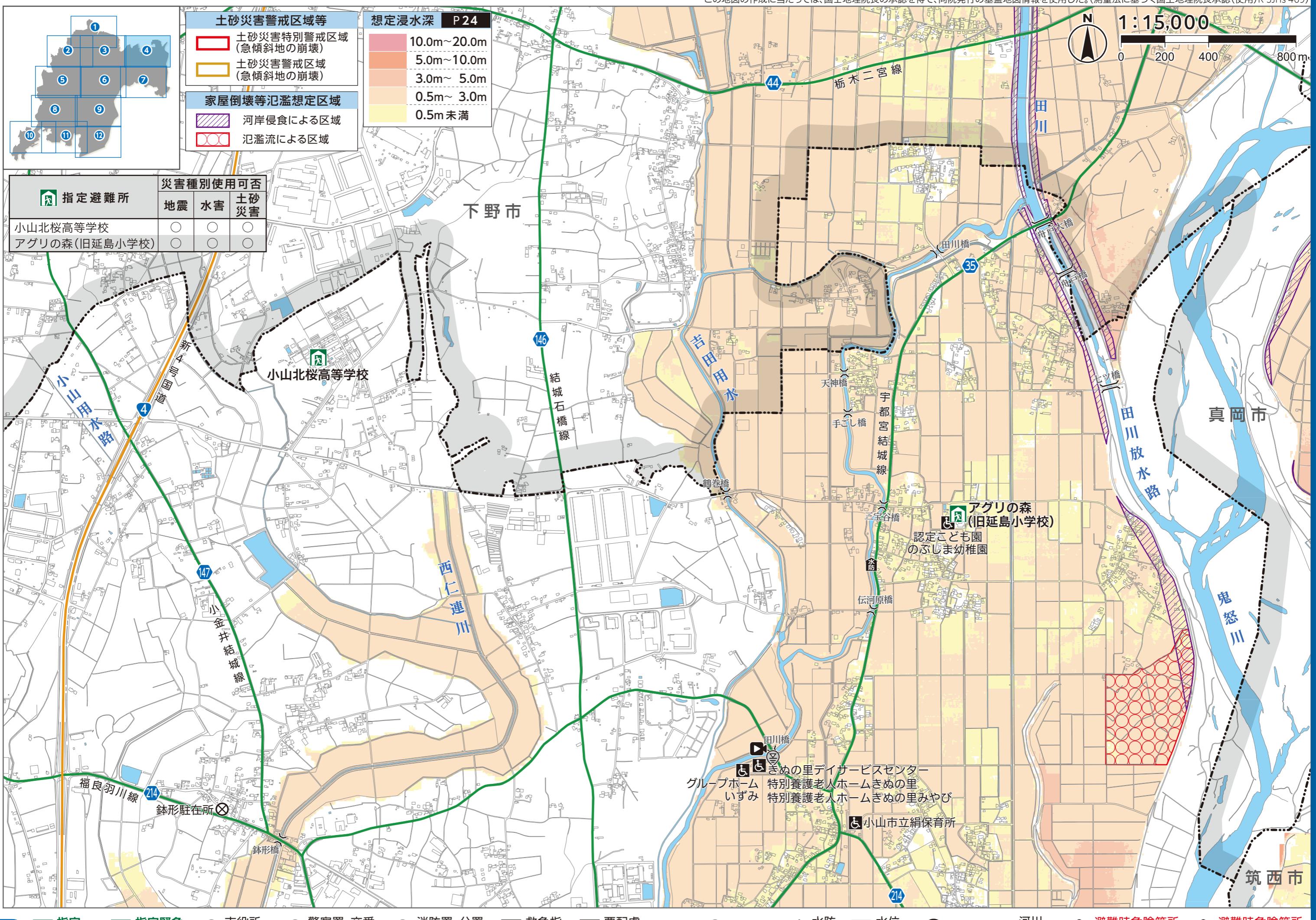


## 洪水・土砂災害マップ②



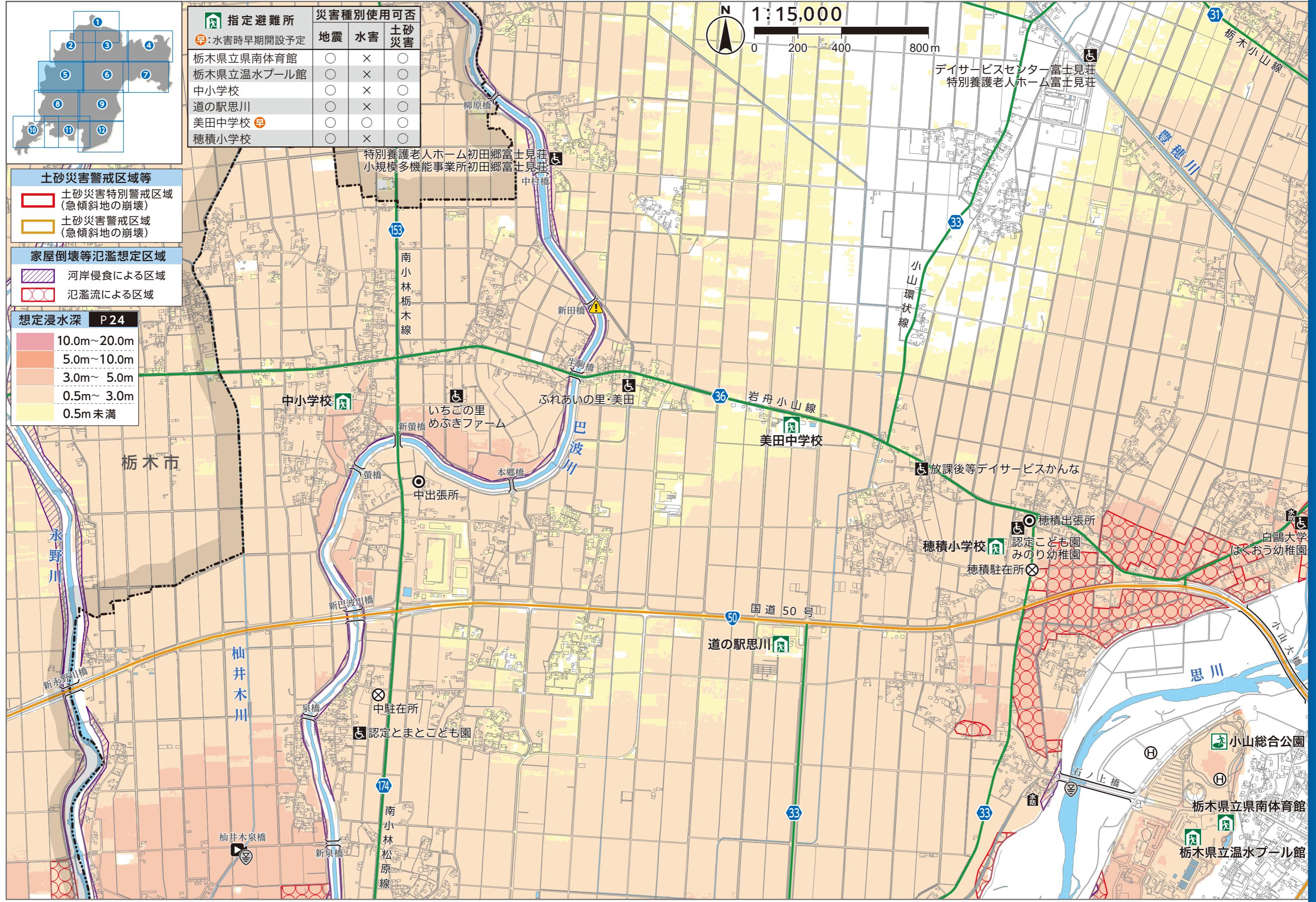


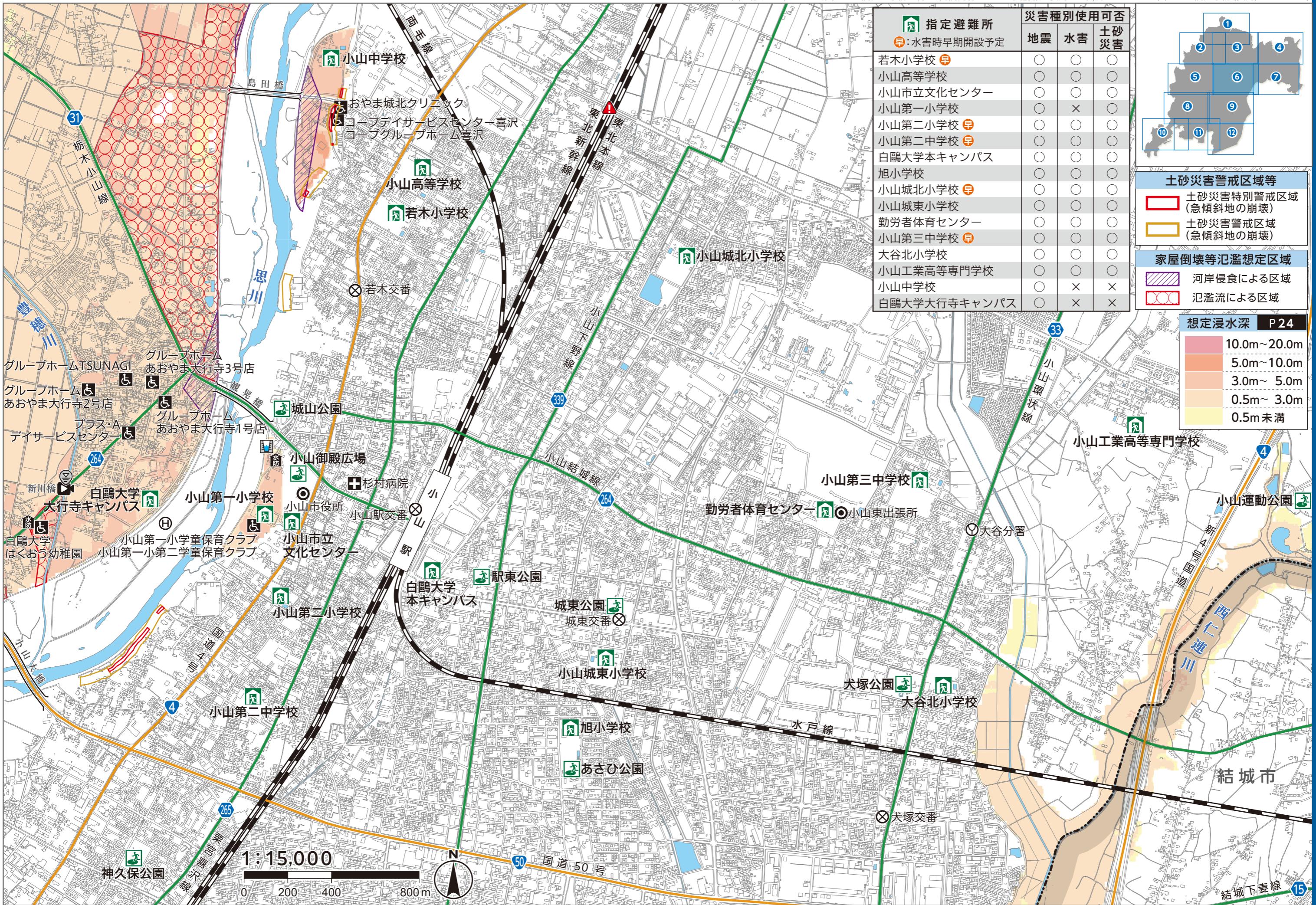
## 洪水・土砂災害マップ 4



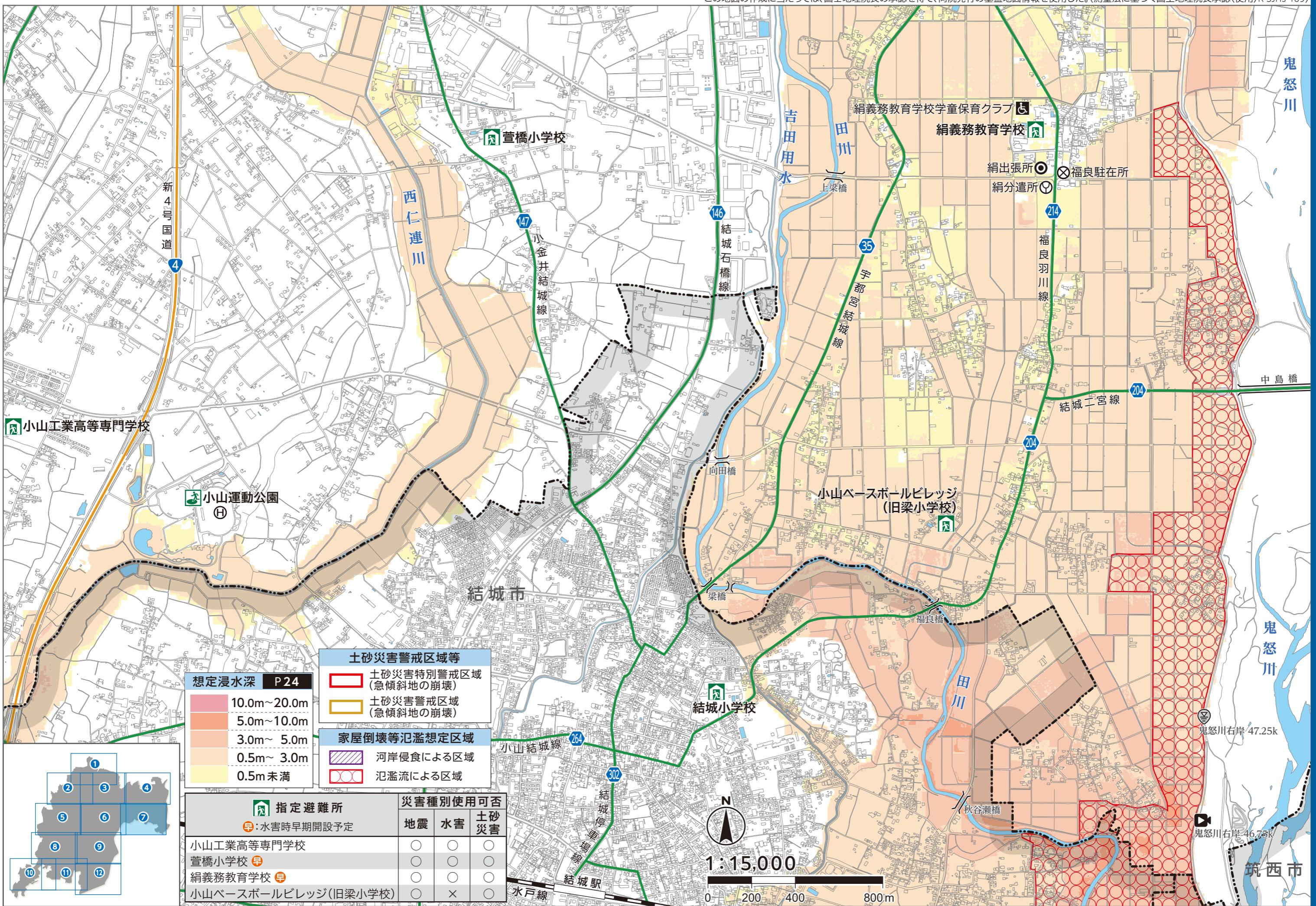
## 洪水・土砂災害マップ 5

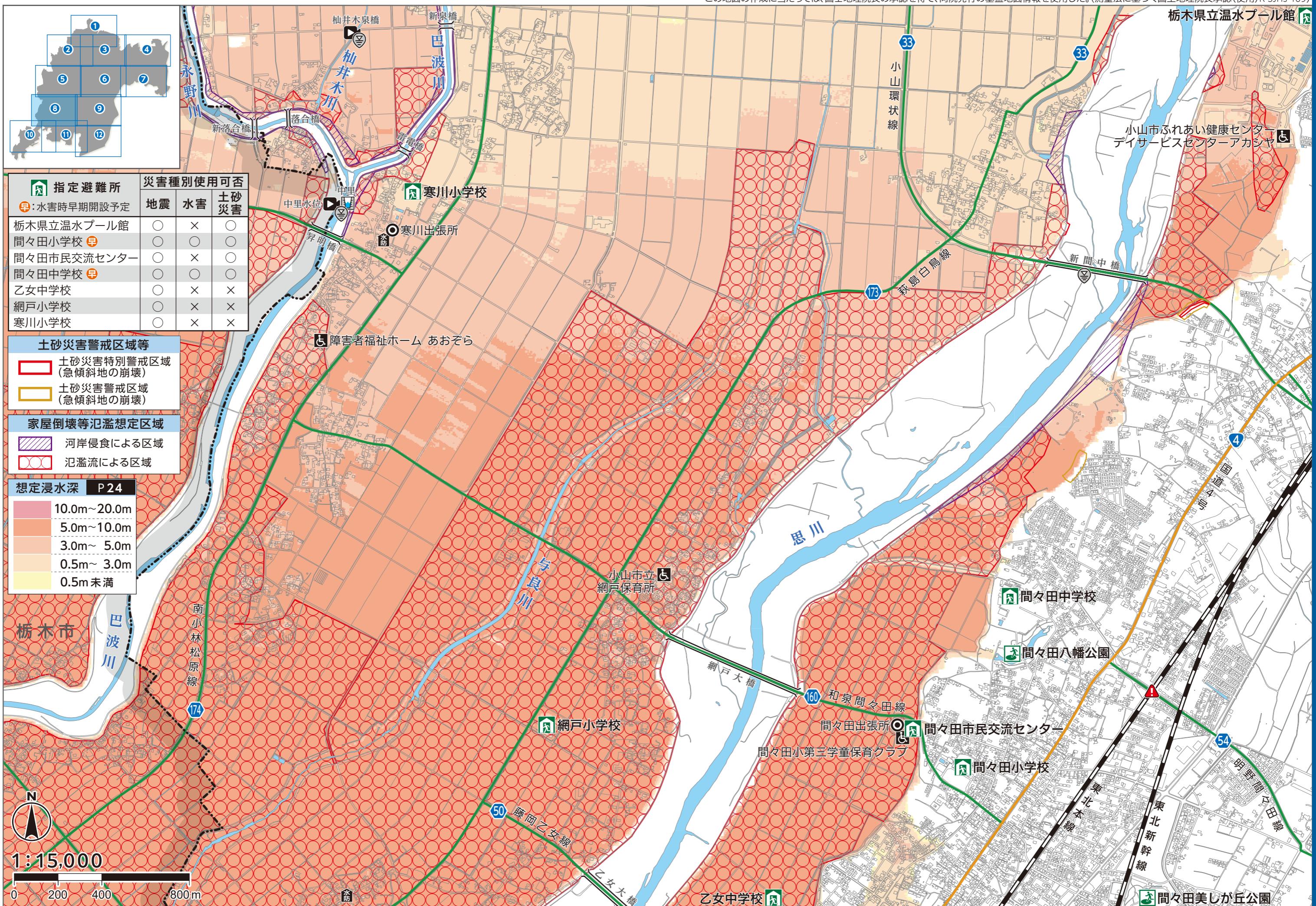
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 469)



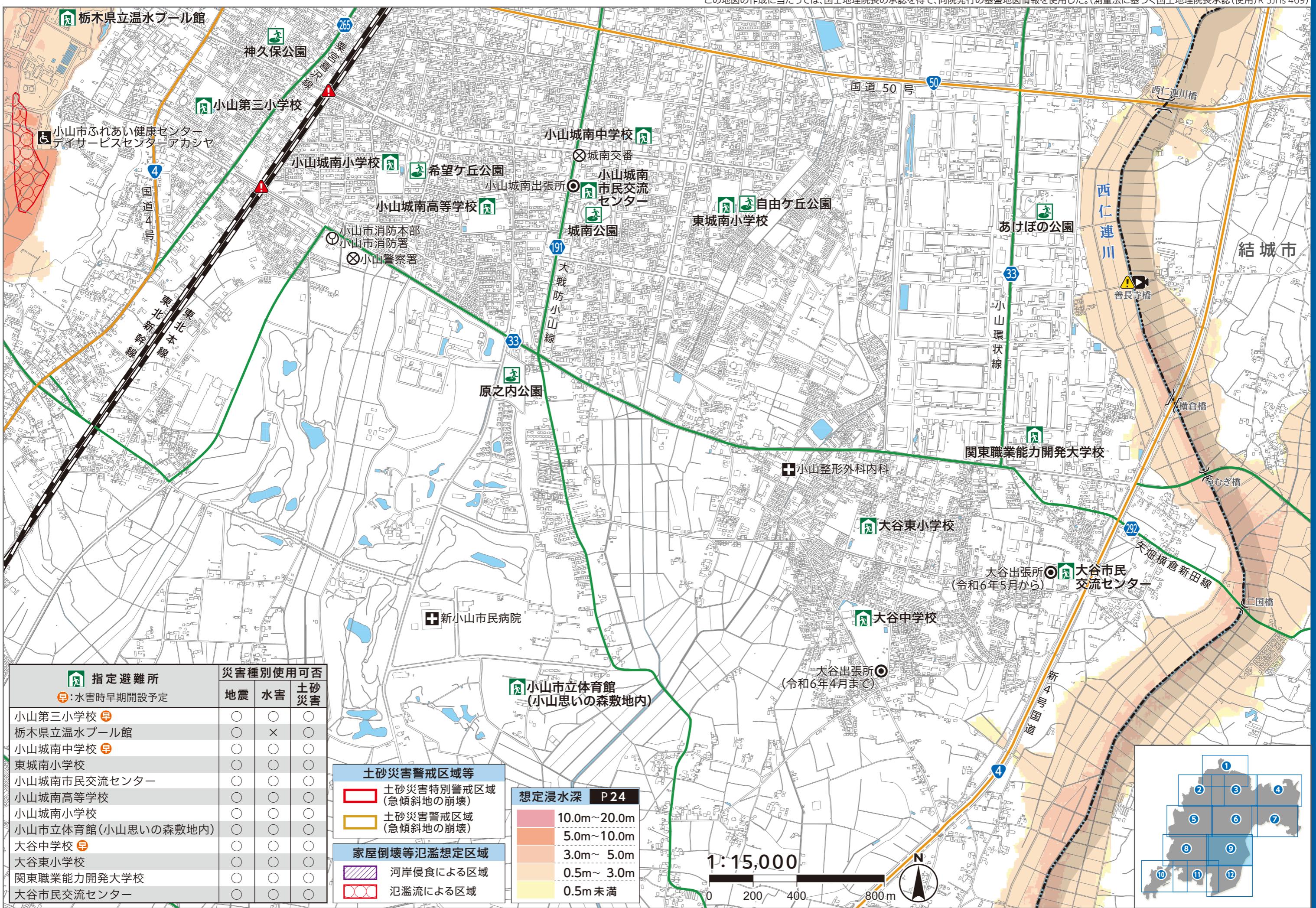


## 洪水・土砂災害マップ 7

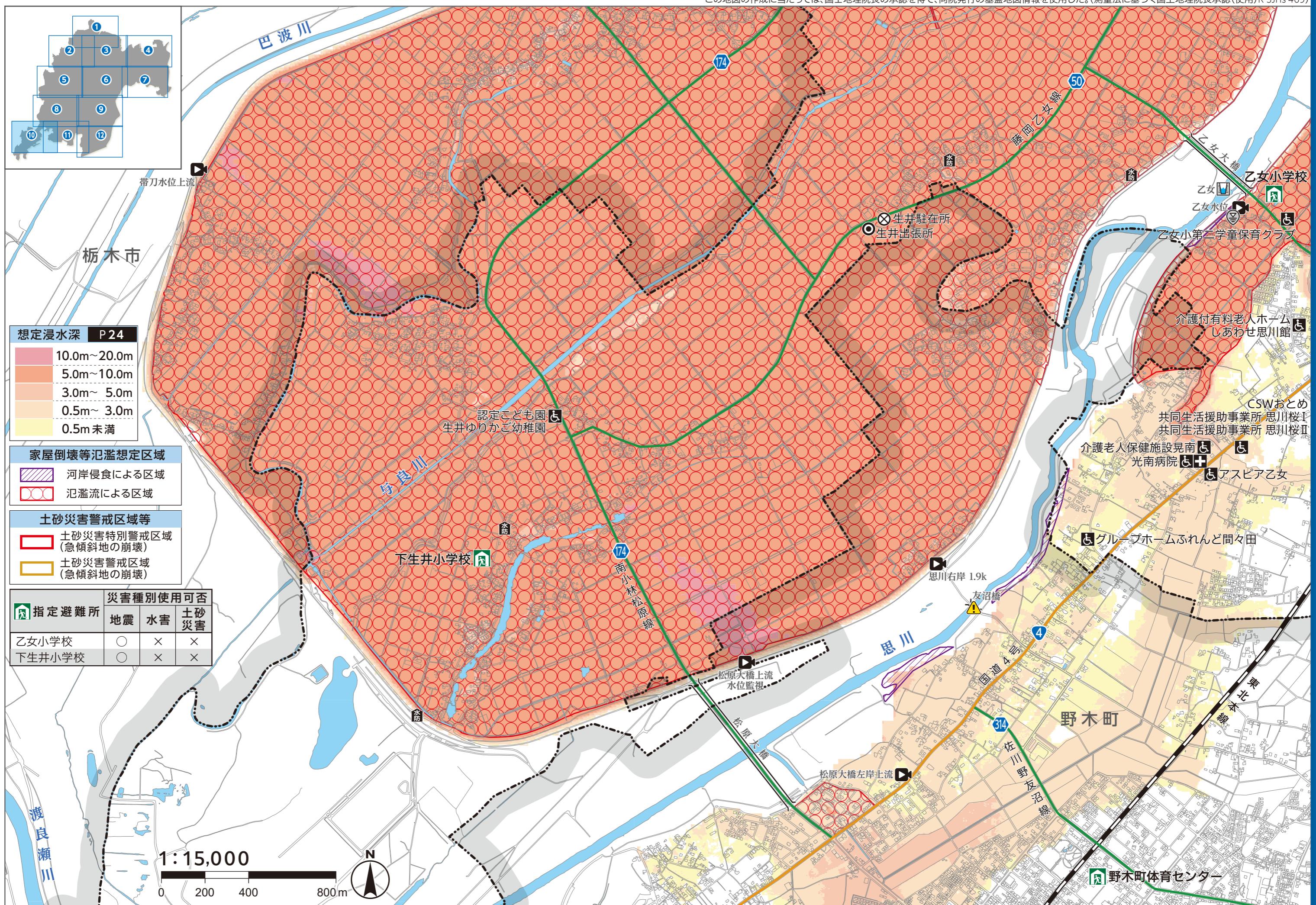




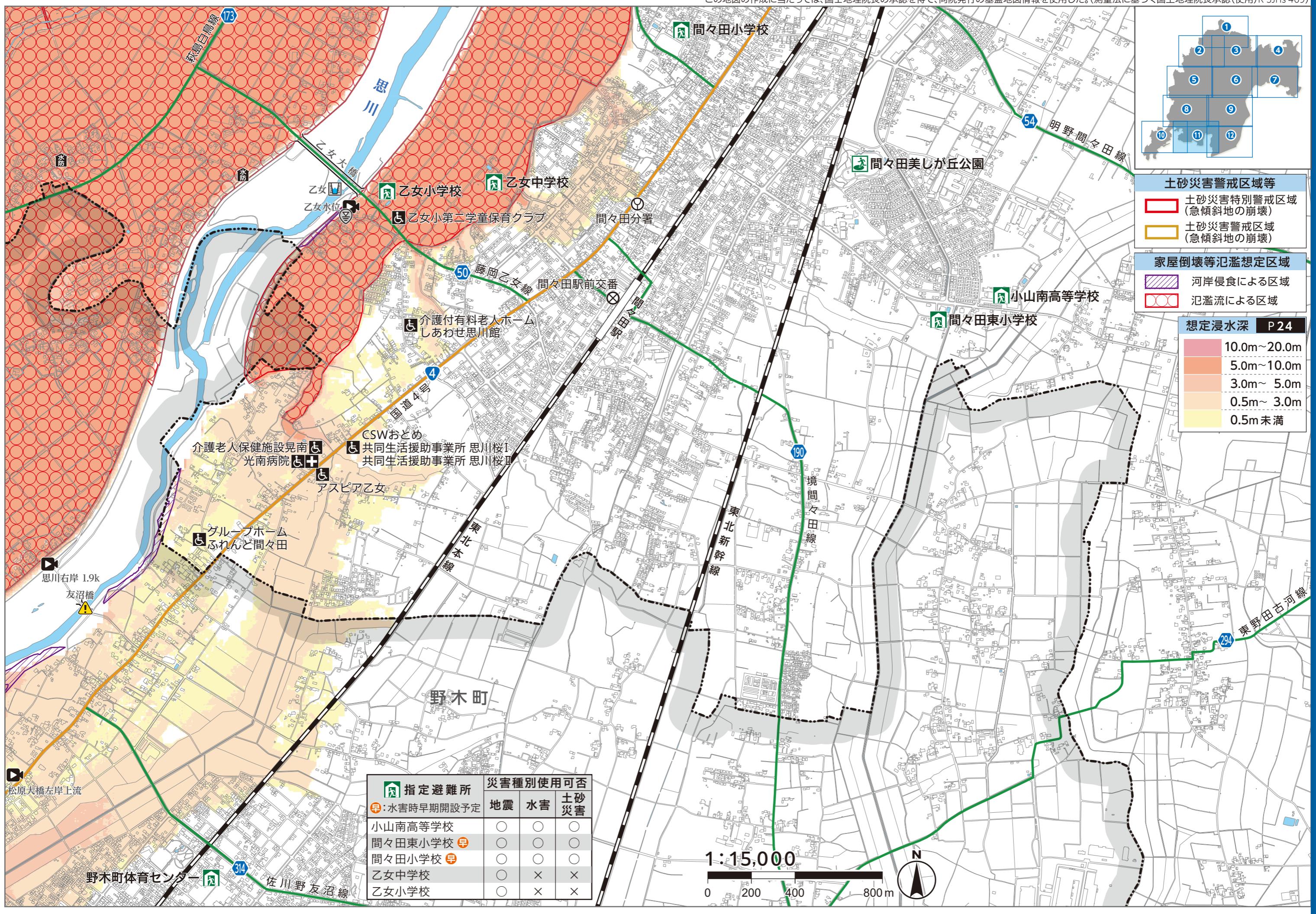
## 洪水・土砂災害マップ⑨



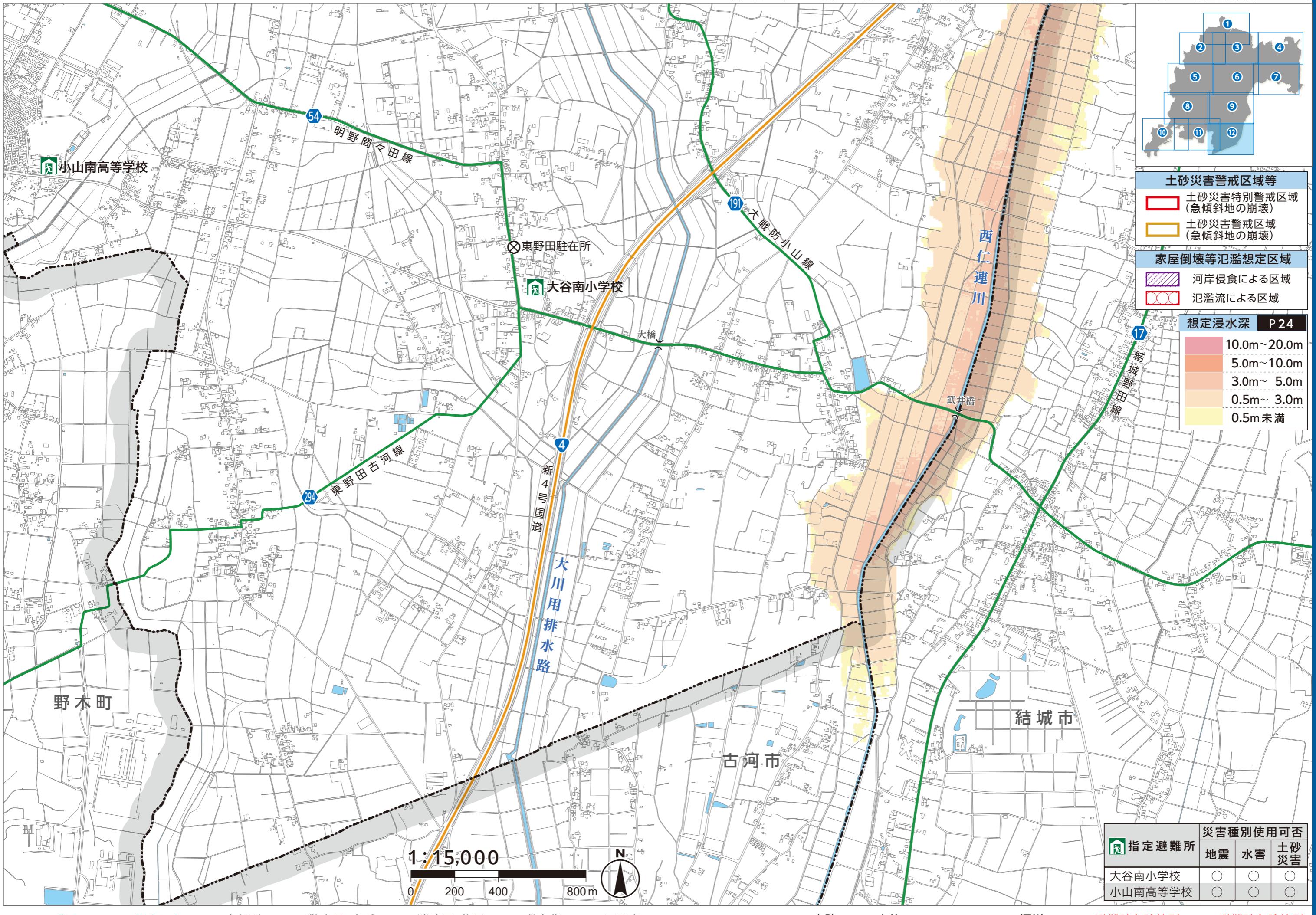
## 洪水・土砂災害マップ 10



# 洪水・土砂災害マップ 11



## 洪水・土砂災害マップ 12



# 市全体の浸水想定区域マップ

災害への備え

地震

洪水・土砂災害

避難所一覧



## 浸水想定区域

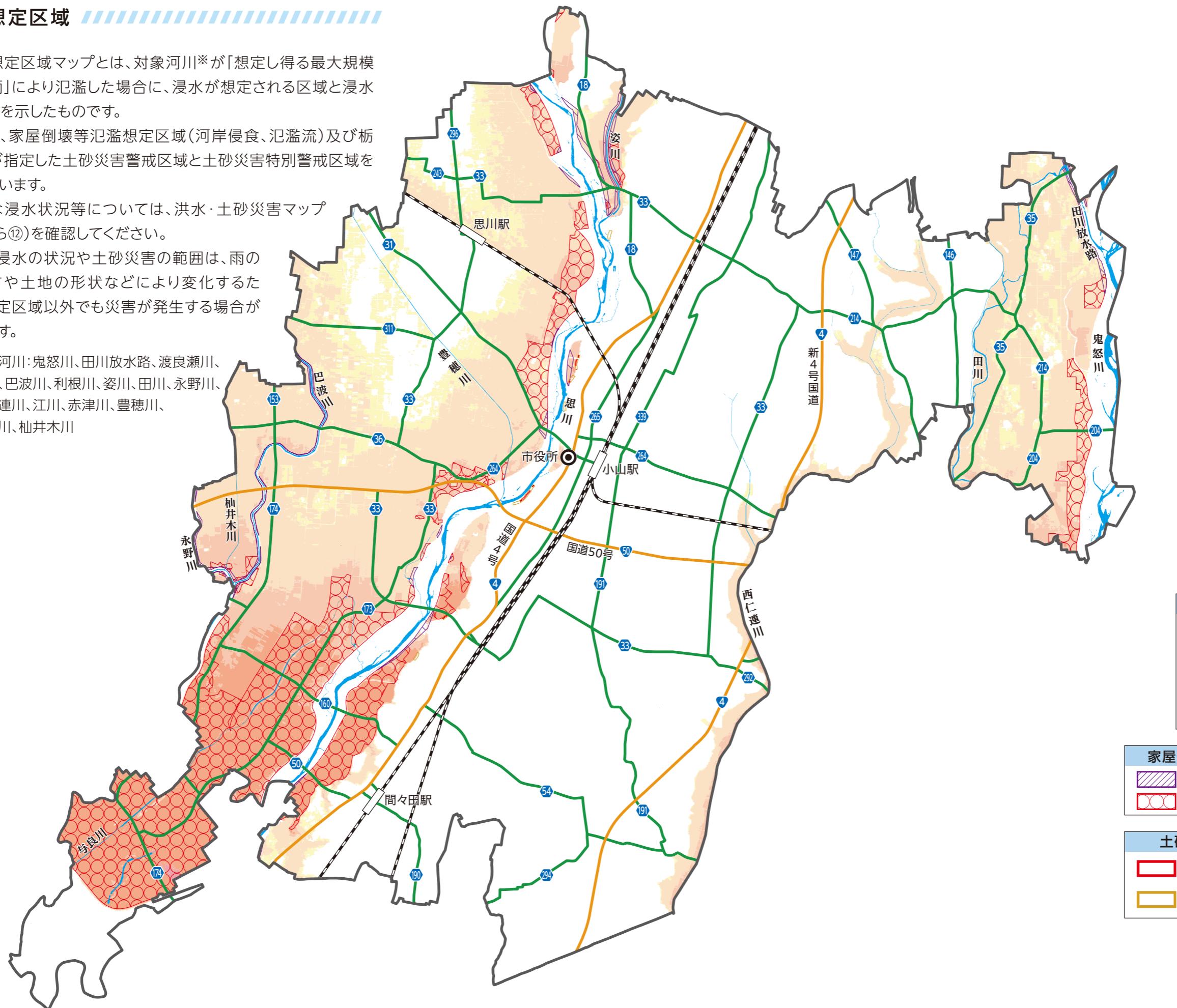
浸水想定区域マップとは、対象河川※が「想定し得る最大規模の降雨」により氾濫した場合に、浸水が想定される区域と浸水の深さを示したものです。

加えて、家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食、氾濫流)及び栃木県が指定した土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域を示しています。

詳細な浸水状況等については、洪水・土砂災害マップ(①から⑫)を確認してください。

なお、浸水の状況や土砂災害の範囲は、雨の降り方や土地の形状などにより変化するため、想定区域以外でも災害が発生する場合があります。

※対象河川:鬼怒川、田川放水路、渡良瀬川、思川、巴波川、利根川、姿川、田川、永野川、西仁連川、江川、赤津川、豊穂川、与良川、杣井木川



国道  
県道

想定浸水深 P 24

10.0m~20.0m
5.0m~10.0m
3.0m~5.0m
0.5m~3.0m
0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食による区域
- 氾濫流による区域

土砂災害警戒区域等

- 土砂災害特別警戒区域  
(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害警戒区域  
(急傾斜地の崩壊)

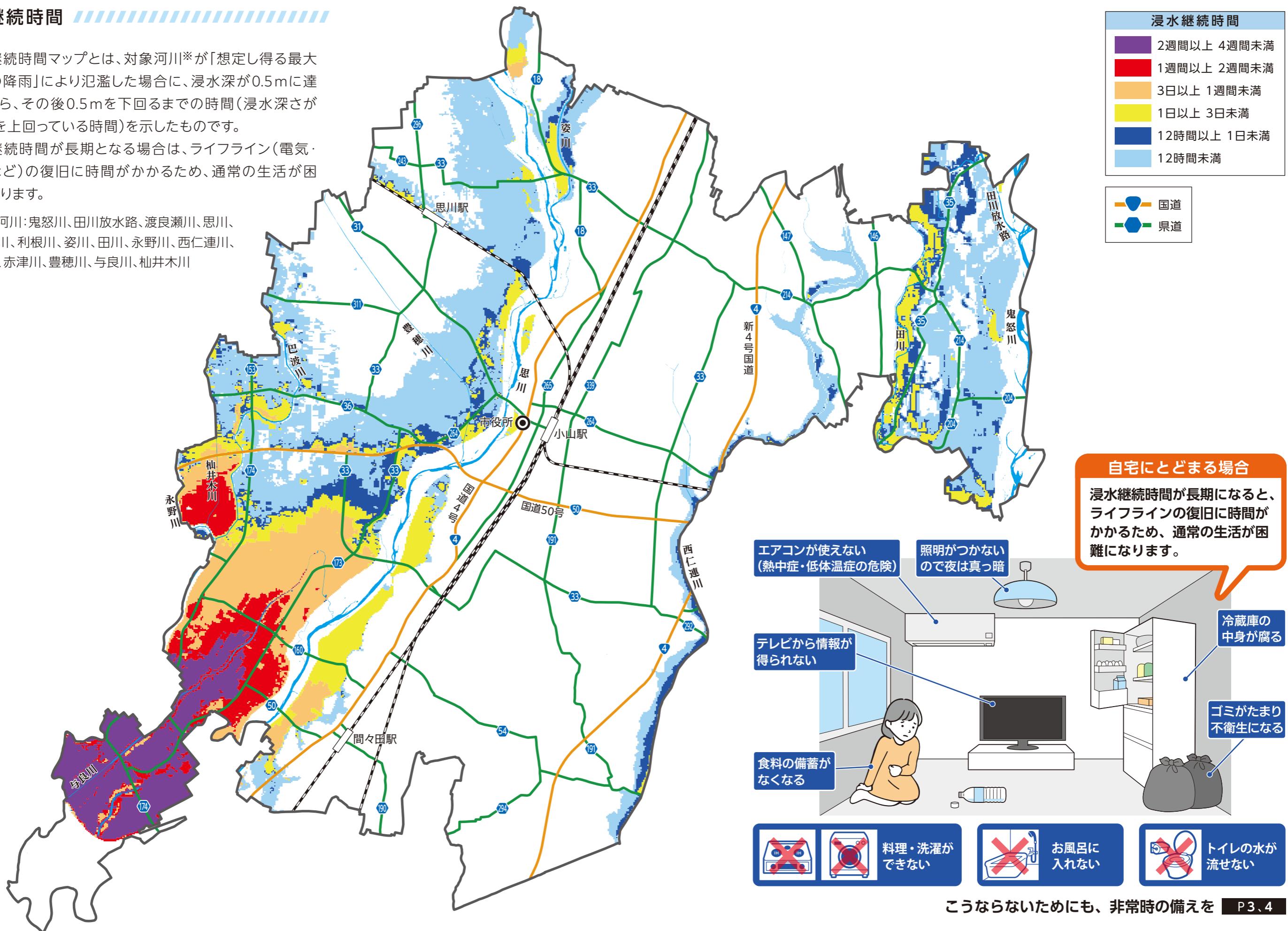
# 市全体の浸水継続時間マップ

## 浸水継続時間

浸水継続時間マップとは、対象河川※が「想定し得る最大規模の降雨」により氾濫した場合に、浸水深が0.5mに達してから、その後0.5mを下回るまでの時間(浸水深さが0.5mを上回っている時間)を示したもので

浸水継続時間が長期となる場合は、ライフライン(電気・水道など)の復旧に時間がかかるため、通常の生活が困難になります。

※対象河川:鬼怒川、田川放水路、渡良瀬川、思川、巴波川、利根川、姿川、田川、永野川、西仁連川、江川、赤津川、豊穂川、与良川、榎井木川



# 避難所一覧

## 指定避難所

指定避難所は、災害の危険性があり避難した住民等が災害の危険性がなくなるまで滞在したり、または自宅が被災して帰宅できない住民等が一定期間避難生活を送るための施設です。



### 早…水害時に早期開設予定の避難施設

○…使用可能 ×…使用不可

地区名	指定避難所	住所	掲載頁	災害種別使用可否		
				地震	水害※1	土砂災害
小山地区	<b>若木小学校</b> 早	若木町2-6-44	35	○	○	○
	小山高等学校	若木町2-8-51	35	○	○	○
	小山市立文化センター	中央町1-1-1	35	○	○	○
	小山第一小学校	宮本町1-3-1	35	○	×	○
	<b>小山第二小学校</b> 早	宮本町2-9-20	35	○	○	○
	<b>小山第二中学校</b> 早	天神町1-6-36	35	○	○	○
	白鷗大学本キャンパス	駅東通り2-2-2	35	○	○	○
	<b>小山第三小学校</b> 早	神鳥谷4-7-51	41	○	○	○
	栃木県立県南体育館	外城371-1	34	○	×	○
	栃木県立温水プール館	外城371-1	34,40,41	○	×	○
	旭小学校	駅南町5-6-69	35	○	○	○
	<b>小山城南中学校</b> 早	東城南1-22-9	41	○	○	○
	東城南小学校	東城南3-9-5	42	○	○	○
	小山城南市民交流センター	東城南4-1-12	41	○	○	○
	小山城南高等学校	西城南4-26-1	41	○	○	○
	小山城南小学校	西城南5-29-1	41	○	○	○
	<b>小山城北小学校</b> 早	城北5-18-1	36	○	○	○
大谷地区	小山城東小学校	城東1-16-1	35	○	○	○
	小山工業高等専門学校	中久喜771	36,37	○	○	○
	小山市立体育館（小山思いの森敷地内）	塚崎1408-1	41	○	○	○
	<b>大谷中学校</b> 早	横倉新田97	42	○	○	○
	大谷東小学校	横倉新田271	42	○	○	○
	大谷市民交流センター（令和6年5月から）	横倉499-6	42	○	○	○
	関東職業能力開発大学校	横倉612-1	42	○	○	○
	大谷南小学校	東野田2147	47	○	○	○
	労働者体育センター	犬塚3-1-2	36	○	○	○
	<b>小山第三中学校</b> 早	犬塚3-29-1	36	○	○	○
	大谷北小学校	犬塚5-6-10	36	○	○	○
間々田地区	小山南高等学校	間々田23-1	46,47	○	○	○
	<b>間々田東小学校</b> 早	間々田57-2	46	○	○	○
	<b>間々田小学校</b> 早	間々田1512	40,46	○	○	○
	間々田市民交流センター	間々田1960-1	40	○	×	○
	<b>間々田中学校</b> 早	間々田2364	40	○	○	○
	乙女中学校	乙女1731	40,45	○	×	×
	乙女小学校	乙女1954	44,45	○	×	×



指定避難所は災害の種類によって使用できるもの・できないものがあります。事前に、利用予定の避難所の「災害種別使用可否」を確認してください。  
また、避難の際には、開設状況を「小山市防災ポータル」で確認してください。

小山市防災ポータル 検索



○…使用可能 ×…使用不可

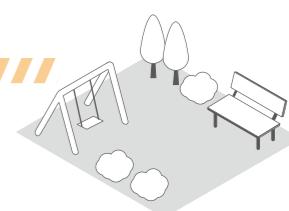
地区名	指定避難所	住所	掲載頁	災害種別使用可否		
				地震	水害※1	土砂災害
生井地区	網戸小学校	網戸1514	39	○	×	×
	下生井小学校	下生井1546	43	○	×	×
寒川地区	寒川小学校	中里861	39	○	×	×
豊田地区	旧豊田北小学校	大本808	25,28,29	○	×	○
	羽川西小学校	黒本771-2	26,29	○	×	×
	小山中学校	渋井779-1	35	○	×	×
	<b>豊田中学校</b> 早	松沼397	28	○	○	○
	<b>豊田小学校</b> 早	松沼416-1	28	○	○	○
	小山西高等学校	松沼741	27	○	○	○
中地区	中小学校	南小林109	33	○	×	○
穂積地区	道の駅思川	下国府塚25-1	34	○	×	○
	<b>美田中学校</b> 早	下国府塚287	34	○	○	○
	白鷗大学大行寺キャンパス	大行寺1117	35	○	×	×
	穂積小学校	萩島27	34	○	×	○
桑地区	羽川小学校	羽川125	30	○	○	○
	桑市民交流センター	羽川858-1	30	○	○	○
	<b>桑中学校</b> 早	出井1859	30	○	○	○
	小山北桜高等学校	東山田448-29	31	○	○	○
	<b>萱橋小学校</b> 早	萱橋1169-1	37	○	○	○
絹地区	アグリの森（旧延島小学校）	延島1019	32	○	○	○
	<b>絹義務教育学校</b> 早 ※2	福良2240-1	38	○	○	○
	小山ベースボールビレッジ（旧梁小学校）	梁67	38	○	×	○

※1 水害とは洪水と内水氾濫を意味します。

※2 水害時に早期開設予定となっているのは第1体育館（西校舎側）で、第2体育館（東校舎側）は状況に応じて開設します。

## 指定緊急避難場所（屋外）

指定緊急避難場所は、災害が発生し、または発生するおそれがあるときにその危険から緊急に避難するための場所です。



指定緊急避難場所	住所
城山公園	城山町1-1
小山御殿広場	中央町1-3
駅東公園	駅東通り2-25
原之内公園	神鳥谷1864-1
小山総合公園※水害時は利用不可	外城371-1
あさひ公園	駅南町5-6
神久保公園	神鳥谷2-29
自由ヶ丘公園	東城南3-8

指定緊急避難場所	住所
城南公園	東城南4-17
希望ヶ丘公園	西城南5-5
城東公園	城東1-19
あけぼの公園	横倉新田465
犬塚公園	犬塚1-24
間々田八幡公園	間々田2369
間々田美しが丘公園	美しが丘3-1
小山運動公園	向野187



# わが家の防災メモ

## 家族や親戚、知人の連絡先を記入しよう

名前	携帯電話番号	通勤・通学先	通勤・通学先の電話番号

## 避難所を確認しよう P53、54

指定避難所	
指定緊急避難場所	

小山市防災  
ポータル



## 災害用伝言ダイヤル 171

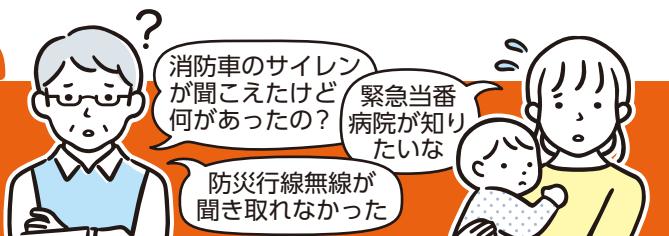
- ①録音は**1**、再生は**2**をダイヤル  
(暗証番号を利用する録音は**3**、  
暗証番号を利用する再生は**4**)
- ②自身の、もしくは連絡を取りたい  
人の電話番号をダイヤル
- ③録音・再生

P6

## 自宅の危険度を確認しよう

震度階級	想定浸水深	家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食・氾濫流)
<input type="checkbox"/> 震度6強	<input type="checkbox"/> 10.0m~20.0m	<input type="checkbox"/> 想定区域内
<input type="checkbox"/> 震度6弱	<input type="checkbox"/> 5.0m~10.0m	<input type="checkbox"/> 想定区域外
<input type="checkbox"/> 震度5強	<input type="checkbox"/> 3.0m~5.0m	土砂災害警戒区域
	<input type="checkbox"/> 0.5m~3.0m	<input type="checkbox"/> 警戒区域内
	<input type="checkbox"/> 0.5m未満	<input type="checkbox"/> 警戒区域外
	<input type="checkbox"/> 浸水想定区域外	想定浸水深、家屋倒壊等氾濫想定 区域、土砂災害警戒区域の確認は P25~48

P10



## 119番の適正利用にご協力ください

119番は、火事や事故、病気など、命にかかわる場合に消防車や救急車を呼ぶ緊急通報番号です。消防車や救急車の要請ではない問い合わせの場合には下記番号を利用してください。

### ▼災害情報・救急当番病院案内

**0285-27-0119**

火災・救助などの出動中の災害情報や当番病院の電話番号が自動音声で流れます。

※ご契約の通信会社やご契約プランによって通話料金がかかる場合があります。

### ▼防災行政無線テレフォンサービス

**0285-23-0031**

防災行政無線の屋外スピーカーからの放送内容を、録音音声で聞き直すことができます。